

# 一般演題プログラム (ワークショップ・口演)

※本号 ( ( ) 内) のページ数を掲載しております。

ワークショップ			プログラム/抄録	
11月24日(金)	WS1	HIV 陽性者の死亡原因から見た現状	17:10 ~ 18:40	P.41 P.145
	WS2	地域における他科・他施設との連携	17:10 ~ 18:40	P.41 P.147
11月25日(土)	WS3	検査・相談体制	10:10 ~ 11:40	P.42 P.150
	WS4	カウンセリング支援の周辺事象とカウンセリングのスタイル	14:30 ~ 16:00	P.43 P.154
	WS5	Workshop on Basic Science in English	17:10 ~ 18:40	P.43 P.156
11月26日(日)	WS6	分子・細胞・集団	10:00 ~ 11:45	P.44 P.162
口演			プログラム/抄録	
11月24日(金)	01	HAND + アドヒアランス	10:10 ~ 11:40	P.47 P.167
	02	抗 HIV 療法①	10:10 ~ 11:40	P.48 P.171
	03	カウンセリング	10:10 ~ 11:40	P.49 P.175
	04	検査・相談体制	10:10 ~ 11:40	P.50 P.179
	05	看護	10:10 ~ 11:40	P.51 P.183
	06	ソーシャルワーク・滞在外国人	14:30 ~ 16:00	P.52 P.186
	07	抗 HIV 療法②	14:30 ~ 16:00	P.53 P.191
	08	医療体制・政策	14:30 ~ 16:00	P.54 P.195
	09	新薬開発	14:30 ~ 16:00	P.54 P.198
	010	薬害 HIV	17:10 ~ 18:40	P.56 P.202
	011	生活習慣病関連合併症	17:10 ~ 18:40	P.57 P.207
	012	免疫	17:10 ~ 18:40	P.58 P.211
	013	母子感染	17:10 ~ 18:40	P.59 P.215
11月25日(土)	014	アンコール+その他	10:10 ~ 11:50	P.60 P.220
	015	抗 HIV 療法③	10:10 ~ 11:40	P.62 P.225
	016	薬物使用・PrEP	10:10 ~ 11:40	P.63 P.229
	017	感染増殖機構	10:10 ~ 11:40	P.64 P.233
	018	陽性者支援	14:30 ~ 16:00	P.65 P.237
	019	日和見感染	14:30 ~ 16:00	P.66 P.242
	020	耐性・症例	17:10 ~ 18:40	P.67 P.246
	021	教育・情報	17:10 ~ 18:10	P.68 P.250
	022	行動科学・意識調査	17:10 ~ 18:40	P.69 P.253
	023	疫学	18:10 ~ 18:40	P.70 P.257
11月26日(日)	024	STI + 肝炎	8:45 ~ 10:15	P.70 P.258
	025	分子疫学	8:45 ~ 10:00	P.71 P.263
	026	MSM	8:45 ~ 10:15	P.72 P.266
	027	(IRIS) 免疫再構築症候群	10:15 ~ 11:45	P.73 P.270
	028	歯科 + PEP/PrEP	10:40 ~ 11:40	P.74 P.274

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第1会場(中野サンプラザ13Fコスモ)

## WS1 HIV陽性者の死亡原因から見た現状

座長 松下修三

(熊本大学 エイズ学研究センター・松下プロジェクト分野)

池田和子

(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター)

WS1-1 HIV関連カポジ肉腫に対する化学療法の適応と難治化の因子に関する検討

矢嶋敬史<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>1,3)</sup>、柳澤如樹<sup>4)</sup>、  
味澤 篤<sup>5)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京医科大学臨床検査医学科
- 4) Harvard T.H.Chan School of Public Health
- 5) 東京都保健医療公社豊島病院

WS1-2 AIDS指標悪性腫瘍と非AIDS指標疾患の後方視的研究

古賀道子<sup>1,2)</sup>、菊地 正<sup>1,2)</sup>、佐藤秀憲<sup>1)</sup>、  
安達英輔<sup>1)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>、四柳 宏<sup>1,2)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 2) 東京大学医科学研究所先端医療研究センター感染症分野

WS1-3 当院における2007年から2017年のHIV感染者死亡例についての検討

田中 勝<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>4)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、矢嶋敬史<sup>1)</sup>、柳澤如樹<sup>5)</sup>、  
味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床微生物科
- 3) 東京都保険医療公社豊島病院
- 4) 東京医科大学臨床検査医学科
- 5) Harvard T.H. Chan School of Public Health

WS1-4 2010年以降の近年におけるHIV陽性者の死因についての検討

笠松 悠<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>1)</sup>、小西啓司<sup>1)</sup>、  
森村 歩<sup>1)</sup>、後藤哲司<sup>1)</sup>、市田裕之<sup>2)</sup>、  
豊島裕子<sup>3)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター 感染症内科
- 2) 大阪市立総合医療センター 薬剤部
- 3) 大阪市立総合医療センター 看護部

WS1-5 終末期を迎えるHIV陽性者の支援のあり方

下司有加

国立病院機構大阪医療センター

★なお本セッションは日本エイズ学会の医師認定制度における学会教育研修プログラムです

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第4会場(中野サンプラザ11Fプロッサム)

## WS2 地域における他科・他施設との連携

座長 塚田訓久

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

佐藤郁夫

(特定非営利活動法人ぶれいす東京)

WS2-6 地域医療としての「エイズ治療拠点病院」の取り組み

土谷良樹<sup>1)</sup>、松永伸一<sup>1)</sup>、角南直美<sup>2)</sup>、  
松本葉子<sup>2)</sup>

- 1) 東葛病院総合診療科
- 2) わかば薬局中央店

WS2-7 クリニック診療における需要と他科連携の課題

河村祐貴子<sup>1)</sup>、根岸昌功<sup>1)</sup>、河野小夜子<sup>1)</sup>、  
西岡春菜<sup>1)</sup>、里 英子<sup>2)</sup>

- 1) ねぎし内科診療所
- 2) 家政大学

WS2-8 保険薬局におけるHIV陽性患者及び非HIV陽性患者の意識調査

中村美紀、鶴田逸朗、堅田陽介

一般社団法人 日本薬業育成会 きらめき薬局

WS2-9 HIV/AIDS診療における病診連携の課題

池田有里<sup>1)</sup>、木下一枝<sup>1)</sup>、宮原明美<sup>1)</sup>、  
神田里恵子<sup>1)</sup>、丸山栄子<sup>2)</sup>、村上英子<sup>2)</sup>、  
杉本悠貴恵<sup>2)</sup>、喜花伸子<sup>2)</sup>、齊藤誠司<sup>3)</sup>、  
山崎尚也<sup>4)</sup>、藤井輝久<sup>4)</sup>

- 1) 広島大学病院 看護部
- 2) 広島大学病院 エイズ医療対策室
- 3) 国立病院機構福山医療センター 感染症内科 / 広島県東部地区エイズ治療センター
- 4) 広島大学病院 輸血部

## WS2-10 北海道 HIV 透析ネットワークの構築とその有効性の検討

遠藤知之<sup>1,2)</sup>、センテノ田村恵子<sup>2,3)</sup>、  
渡部恵子<sup>2,4)</sup>、宮下直洋<sup>1,3)</sup>、荒 隆英<sup>1,3)</sup>、  
後藤秀樹<sup>1,2)</sup>、橋野 聡<sup>2,5)</sup>、豊嶋崇徳<sup>1,2)</sup>

- 1) 北海道大学病院 血液内科
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) エイズ予防財団
- 4) 北海道大学病院 看護部
- 5) 北海道大学 保健センター

## WS2-11 北海道ブロック「HIV/AIDS 出張研修」5年間の実践報告

渡部恵子<sup>1,2)</sup>、センテノ田村恵子<sup>2,4)</sup>、  
遠藤知之<sup>2,3)</sup>、富田健一<sup>2)</sup>、石田陽子<sup>2)</sup>、  
藤田和華子<sup>2,4)</sup>、後藤秀樹<sup>2,3)</sup>、宮下直洋<sup>3,4)</sup>、  
大野稔子<sup>1,2)</sup>、豊嶋崇徳<sup>2,3)</sup>、本田秀子<sup>1,2)</sup>

- 1) 北海道大学病院看護部
- 2) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 3) 北海道大学病院血液内科
- 4) エイズ予防財団

■日時：11月25日(土) 10:10～11:40

■会場：第7会場 (コングレスクエア中野1F ルーム1)

### WS3 検査・相談体制

座長 市川誠一

(人間環境大学大学院 看護学研究科)

岩橋恒太

(特定非営利活動法人 akta)

## WS3-12 保健福祉センターにおける HIV 抗原抗体検査受検者アンケートから見た MSM 対策の評価

櫻井理恵<sup>1)</sup>、真木景子<sup>1)</sup>、浦林純江<sup>1)</sup>、  
青木理恵<sup>1)</sup>、浅井千絵<sup>1)</sup>、松本健二<sup>1)</sup>、  
小向 潤<sup>1)</sup>、植田英也<sup>1)</sup>、半羽宏之<sup>1)</sup>、  
松村直樹<sup>1)</sup>、久保徹朗<sup>1)</sup>、安井典子<sup>2)</sup>、  
塩野徳史<sup>3,4)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) 大阪市保健所
- 2) 大阪市北区保健福祉センター
- 3) 大阪青山大学
- 4) MASH 大阪
- 5) 人間環境大学

## WS3-13 東京東部地域における MSM 向け HIV 検査・相談会「快速あんしん検査上野駅」の啓発の構成

岩橋恒太<sup>1)</sup>、本間隆之<sup>2)</sup>、堅多敦子<sup>3)</sup>、  
貞升健志<sup>4)</sup>、長島真美<sup>4)</sup>、清古愛弓<sup>5)</sup>、  
生島 嗣<sup>6)</sup>、岳中美江<sup>9)</sup>、市川誠一<sup>7)</sup>、  
今村顕史<sup>8)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 山梨県立大学看護学部
- 3) 東京都福祉保健局
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 台東区台東保健所
- 6) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 7) 人間環境大学看護学部
- 8) 東京都立駒込病院
- 9) 一般社団法人 BULBY

## WS3-14 HIV 検査相談会「快速あんしん検査上野駅」の実施

本間隆之<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、堅多敦子<sup>3)</sup>、  
貞升健志<sup>4)</sup>、長島真美<sup>4)</sup>、清古愛弓<sup>5)</sup>、  
生島 嗣<sup>6)</sup>、市川誠一<sup>7)</sup>、今村顕史<sup>8)</sup>

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 東京都福祉保健局
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 台東区台東保健所
- 6) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 7) 人間環境大学看護学部
- 8) 東京都立駒込病院

## WS3-15 MSM を対象とした自己穿刺血による HIV 検査 — HIV Check 受検者の有病率

高野 操<sup>1)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、荒木順子<sup>2)</sup>、  
木南拓也<sup>2)</sup>、佐久間久弘<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、  
佐藤郁夫<sup>3)</sup>、福原寿弥<sup>3)</sup>、中山保世<sup>4)</sup>、  
小日向弘雄<sup>4)</sup>、友成喜代美<sup>5)</sup>、土屋亮人<sup>5)</sup>、  
杉野祐子<sup>5)</sup>、小形幹子<sup>5)</sup>、上村 悠<sup>5)</sup>、  
柳川泰昭<sup>5)</sup>、水島大輔<sup>5)</sup>、青木孝弘<sup>5)</sup>、  
市川誠一<sup>6)</sup>、菊池 嘉<sup>5)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター
- 2) NPO 法人 akta
- 3) NPO 法人ふれいす東京
- 4) 東新宿こころのクリニック
- 5) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 6) 人間環境大学

## WS3-16 乾燥濾紙血を用いた HIV-1 RNA および DNA 検査法

丸山理恵<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>1)</sup>、藤原 宏<sup>2)</sup>、  
長谷川直樹<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

- 1) 慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室
- 2) 慶應義塾大学病院感染制御センター

## WS3-17 HIV 郵送検査に関する実態調査と検査精度調査 (2016)

須藤弘二<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、  
今井光信<sup>3)</sup>、木村 哲<sup>4)</sup>、加藤真吾<sup>1)</sup>

- 1) 慶応義塾大学医学部 微生物学・免疫学教室
- 2) 神奈川県衛生研究所 微生物部
- 3) 田園調布学園大学
- 4) 東京医療保健大学

## WS3-18 HIV 陽性者と周囲の人への相談事業における、判定保留者の背景について

牧原信也、生島 嗣、福原寿弥、佐藤郁夫、  
折茂 淳、村崎美和

特定非営利活動法人 ふれいす東京

## WS4-22 HIV 陽性者の心理的支援の重要性に関する検討 (1) — HIV 陽性者との試行的カウンセリングの経過を通して —

田中史子<sup>1)</sup>、古野裕子<sup>2)</sup>、荒木浩子<sup>3)</sup>、  
市原有希子<sup>4)</sup>、清水亜紀子<sup>5)</sup>、高橋紗也子<sup>6)</sup>、  
仲倉高広<sup>7)</sup>、野田実希<sup>7)</sup>、山崎基嗣<sup>7)</sup>、  
山本喜晴<sup>8)</sup>、大山泰宏<sup>9)</sup>

- 1) 人間環境大学人間環境学科
- 2) におの浜クリニック
- 3) 追手門学院大学心理学部
- 4) 立命館大学学生サポートルーム
- 5) 京都市立病院
- 6) 社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
- 7) 京都大学大学院教育学研究科博士後期課程
- 8) 関西国際大学人間科学部
- 9) 京都大学大学院教育学研究科

■日時：11月25日(土) 14:30～16:00

■会場：第4会場(中野サンプラザ11Fプロッサム)

### WS4 カウンセリング支援の周辺事象とカウンセリングのスタイル

座長 宮島謙介

(東京都福祉保険局 健康安全部 感染症対策課)

高田知恵子

(大妻女子大学 人間関係学部)

## WS4-23 HIV 陽性者への心理的支援の重要性に関する検討 (2) 試行的カウンセリングについての多面的評価の試み

古野裕子<sup>1)</sup>、田中史子<sup>2)</sup>、荒木浩子<sup>3)</sup>、  
市原有希子<sup>4)</sup>、清水亜紀子<sup>5)</sup>、高橋紗也子<sup>6)</sup>、  
仲倉高広<sup>7)</sup>、野田実希<sup>7)</sup>、山崎基嗣<sup>7)</sup>、  
山本喜晴<sup>8)</sup>、大山泰宏<sup>7,9)</sup>

- 1) におの浜クリニック
- 2) 人間環境大学人間環境学部
- 3) 追手門学院大学心理学部
- 4) 立命館大学学生サポートルーム
- 5) 京都市立病院
- 6) 社会医療法人かりゆし会ハートライフクリニック
- 7) 京都大学大学院教育学研究科
- 8) 関西国際大学人間科学部
- 9) 放送大学

## WS4-19 ロールシャッハ法(片口法)における同性愛指数について

仲倉高広

京都大学大学院教育学研究科

## WS4-20 末期癌を抱える HIV 陽性者との心理療法

清水亜紀子

京都市立病院

## WS4-21 HIV 感染症患者における自閉症スペクトラム障害 (Autism Spectrum Disorder; ASD) 傾向の検討 (第2報)

松岡亜由子<sup>1)</sup>、桐山佳奈<sup>1,2)</sup>、杉村美奈子<sup>1)</sup>、  
石原真理<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

- 1) (独) 国立病院機構名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 2) (公財) エイズ予防財団

■日時：11月25日(土) 17:10～18:40

■会場：第5会場(中野サンプラザ11F アネモ)

### WS5 Workshop on Basic Science in English

座長 櫻木淳一

(大阪大学 微生物病研究所 ウイルス感染制御分野)

立川(川名) 愛

(国立感染症研究所 エイズ研究センター)

## WS5-24 High Resolution HIV-1 Provirus Transcriptome Analysis with DNA Probe Enrichment

TanBenjy Jek Yang<sup>1)</sup>、  
Miyazato Paola<sup>2)</sup>、  
IslamMohammad Saiful<sup>1,2)</sup>、  
Iwase Saori<sup>2)</sup>、Kudo Eriko<sup>1)</sup>、  
Okada Seiji<sup>1)</sup>、Satou Yorifumi<sup>1,2)</sup>

- 1) Center for AIDS Research (CAIDS), Kumamoto University
- 2) International Research Center for Medical Sciences (IRCMS), Kumamoto University

WS5-25 Mannose receptor 1 inhibits virus release from HIV-1 infected human macrophages

Sayaka Sukegawa, Miyagi Eri, Fadila Bouamr, Klaus Strebel

National Institutes of Health, Viral Biochemistry Section, Laboratory of Molecular Microbiology, NIAID

WS5-26 HIV の M-Sec/RalA 経路依存的な細胞膜ナノチューブの形成促進・細胞間伝播

HIV promotes membrane nanotube formation in an M-Sec/RalA axis-dependent manner for intercellular spread

鈴 伸也、Lotfi Sameh、野依 修

熊本大学 エイズ学研究センター 国際先端医学研究拠点施設

Shinya Suzu, Sameh Lotfi, Osamu Noyori

Center for AIDS Research, International Research Center for Medical Sciences, Kumamoto University

WS5-27 伝播により変異を蓄積した SIV の感染免疫動態に関する研究

Analysis of in vivo replication capacity of MHC-I adapted SIV

関 紗由里<sup>1)</sup>、野村拓志<sup>1,2)</sup>、西澤雅子<sup>1)</sup>、石井 洋<sup>1)</sup>、三浦智行<sup>3)</sup>、俣野哲朗<sup>1,2,4)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 熊本大学エイズ学研究センター
- 3) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所
- 4) 東京大学医科学研究所

Sayuri Seki<sup>1)</sup>、Takushi Nomura<sup>1,2)</sup>、Masako Nishizawa<sup>1)</sup>、Hiroshi Ishii<sup>1)</sup>、Tomoyuki Miura<sup>3)</sup>、Tetsuro Matano<sup>1,2,4)</sup>

- 1) AIDS Research Center, National Institute of Infectious Disease
- 2) Center for AIDS Research, Kumamoto University
- 3) Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University
- 4) The Institute of Medical Science, The University of Tokyo

WS5-28 Relative resistance of MHC-B to Nef-mediated downregulation is conserved among lentiviruses and correlates with reduced viral loads in HIV-1-infected patients

Mwimanzi Francis<sup>1)</sup>、豊田真子<sup>1)</sup>、Mahiti Macdonald<sup>1,2)</sup>、Kirchhoff Frank<sup>3)</sup>、Ndung'u Thumbi<sup>4)</sup>、上野貴将<sup>1,2)</sup>

- 1) 熊本大学エイズ学研究センター
- 2) 熊本大学国際先端医学研究拠点
- 3) Ulm University Medical Center, Germany
- 4) University of KwaZulu-Natal, South Africa

WS5-29 ART 開始時期の違いによる HIV 特異的 CD8T 細胞機能変化

Impact of ART on CTL responses during acute HIV infection

山本拓也

医薬基盤・健康・栄養研究所 ワクチン・アジュバント研究センター トランスレーショナル免疫プロジェクト

Takuya Yamamoto

Laboratory of Translational Immunology, National Institutes of Biomedical Innovation, Health and Nutrition

■日時：11月26日(日) 10:00～11:45

■会場：第5会場(中野サンプラザ11F アネモ)

## WS6 分子・細胞・集団

座長 岩谷靖雅

((独)国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫研究部)

佐藤 佳

(京都大学ウイルス・再生医科学研究所 システムウイルス学分野)

WS6-30 HIV-1 エンベロープ三量体における中和抗体逃避機構の解析

横山 勝、佐藤裕徳

国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

WS6-31 数理モデルを用いた HIV 侵入段階における CCR5 の動態解析

中田浩智<sup>1)</sup>、柿添友輔<sup>2)</sup>、前田賢次<sup>3)</sup>、岩見真吾<sup>2)</sup>、満屋裕明<sup>3)</sup>

- 1) 熊本大学医学部附属病院血液・膠原病・感染症内科
- 2) 九州大学理学研究院生物科学部門数理生物学教室
- 3) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター研究所

- WS6-32 **APOBEC3G N 末端 RNA 結合構造モデルの構築及びその検証**  
福田寛文<sup>1)</sup>、Sarca Anamaria<sup>1)</sup>、山下和男<sup>2)</sup>、Li Songling<sup>2)</sup>、Sardo Luca<sup>3)</sup>、Smith Jessica<sup>4)</sup>、白川康太郎<sup>1)</sup>、Standley Daron<sup>2,5)</sup>、泉 泰輔<sup>1)</sup>、高折晃史<sup>1)</sup>  
1) 京都大学医学部附属病院 血液・腫瘍内科  
2) 大阪大学免疫学フロンティア研究センター 免疫システム学  
3) Department of Biological Sciences, McNeil STC, University of the Sciences  
4) Molecular and Translational Sciences, USAMRIID  
5) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 生体情報分野
- WS6-33 **Visualization of viral DNA dynamics during INSTI-resistant HIV-1 replication**  
Hachiya Atsuko<sup>1)</sup>、KarenA. Kirby<sup>2)</sup>、Maritza Puray-Chavez<sup>2)</sup>、Matsuda Masakazu<sup>1)</sup>、Ode Hirota<sup>1)</sup>、Shigemi Urara<sup>1)</sup>、Okazaki Reiko<sup>1)</sup>、Yokomaku Yoshiyuki<sup>1)</sup>、StefanG. Sarafianos<sup>2)</sup>、Iwatani Yasumasa<sup>1)</sup>  
1) National Hospital Organization Nagoya Medical Center  
2) University of Missouri School of Medicine
- WS6-34 **Deep Sequencing 技術を利用した HIV-1 のゲノム組込部位の網羅的解析法の開発**  
大出裕高<sup>1)</sup>、井上歩美<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,2)</sup>  
1) (独) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部  
2) 名古屋大学大学院医学系研究科
- WS6-35 **Non-catalytic site integrase inhibitors (NCINIs)の耐性変異解析から得られた HIV-1 インテグラーゼ多量体形成プロファイル**  
中村朋文<sup>1)</sup>、天野将之<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>1)</sup>、宮川寿一<sup>1)</sup>、松岡雅雄<sup>1,2)</sup>、満屋裕明<sup>1,3)</sup>  
1) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科  
2) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所 ウイルス制御分野  
3) 国立国際医療研究センター研究所 難治性ウイルス感染症研究部
- WS6-36 **国内伝播クラスタの検索プログラムの開発 1 : 未知の塩基配列の所属する伝播クラスタの解析力の検証**  
椎野禎一郎<sup>1)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、石原美紀<sup>2)</sup>、南 留美<sup>3)</sup>、蜂谷敦子<sup>4)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>、吉田 繁<sup>5)</sup>、近藤真規子<sup>6)</sup>、貞升健志<sup>7)</sup>、古賀道子<sup>8)</sup>、森 治代<sup>9)</sup>、杉浦 互<sup>10)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>  
1) 国立感染症研究所  
2) 琉球大学  
3) (独) 九州医療センター  
4) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター  
5) 北海道大学  
6) 神奈川県衛生研究所  
7) 東京都健康安全研究センター  
8) 東京大学医科学研究所  
9) 大阪府立公衆衛生研究所  
10) グラクソスミスクライン株式会社

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第2会場(中野サンプラザ13Fスカイ)

## 01 HAND + アドヒアランス

座長 高田清式

(愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター)

吉野宗宏

(国立病院機構 宇多野病院 薬剤部)

### 01-001 HIV 関連神経認知障害における頭部 MRI 画像所見

小谷岳春<sup>1)</sup>、齋藤千鶴<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>

1) 石川県立中央病院血液内科

2) 石川県立中央病院免疫感染症科

### 01-002 HAND 診断を受けた患者と家族への治療と心理的サポート：医療チームでの取り組み

坂本麻衣子<sup>1)</sup>、青山のぞみ<sup>2)</sup>、濱田洋平<sup>2)</sup>、  
浦上宗治<sup>2)</sup>、鈴山耕平<sup>2)</sup>、原田千秋<sup>2)</sup>、  
三原由起子<sup>2)</sup>、江口利信<sup>2)</sup>、青木洋介<sup>1,2)</sup>

1) 佐賀大学医学部

2) 佐賀大学医学部附属病院

### 01-003 HIV 陽性者に対するアイオワ・ギャングリング課題

中尾 綾<sup>1)</sup>、末盛浩一郎<sup>1)</sup>、山之内 純<sup>1)</sup>、  
安川正貴<sup>1)</sup>、高田清式<sup>2)</sup>

1) 愛媛大学大学院 血液・免疫・感染症内科学

2) 愛媛大学医学部附属病院 総合臨床研修センター

### 01-004 HIV 関連神経認知障害 (HAND) における神経心理検査別の関連因子に関する検討 (J-HAND 研究第2報)

小松賢亮<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、坂本麻衣子<sup>2)</sup>、  
谷口俊文<sup>3)</sup>、中尾 綾<sup>4)</sup>、坂田達朗<sup>5)</sup>、  
飯塚暁子<sup>5)</sup>、小山徹平<sup>6)</sup>、緒方 稔<sup>7)</sup>、  
乾 啓洋<sup>8)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、  
J-HAND StudyGroup<sup>9)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター

2) 佐賀大学医学部

3) 千葉大学医学部附属病院

4) 愛媛大学大学院医学系研究科

5) 国立病院機構福山医療センター

6) 鹿児島大学病院

7) 熊本大学医学部附属病院

8) 順天堂大学医学部

9) 研究協力17施設

### 01-005 HIV 関連神経認知障害 (HAND) と精神疾患や薬物使用との関連 (J-HAND 研究第3報)

木内 英<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>1)</sup>、坂本麻衣子<sup>2)</sup>、  
谷口俊文<sup>3)</sup>、中尾 綾<sup>4)</sup>、猪狩英俊<sup>3)</sup>、  
渡邊愛祈<sup>1)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター

2) 佐賀大学医学部、地域医療科学教育センター

3) 千葉大学医学部附属病院、感染症内科・感染制御部

4) 愛媛大学大学院医学系研究科、血液・免疫・感染症内科学

### 01-006 HIV 感染者の服薬アドヒアランスに影響を与える因子の検討

築地茉莉子<sup>1)</sup>、谷口俊文<sup>2)</sup>、櫻井隆之<sup>2)</sup>、  
中村貴子<sup>1)</sup>、鈴木貴明<sup>1)</sup>、猪狩英俊<sup>2)</sup>、  
石井伊都子<sup>1)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院 薬剤部

2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科

### 01-007 外来 HIV 感染症診療における薬剤師介入が患者へもたらす効果に関する調査

治田匡平<sup>1)</sup>、市田裕之<sup>2)</sup>、石樋康浩<sup>3)</sup>、  
宇高 歩<sup>4)</sup>、日笠真一<sup>5)</sup>、尾崎淳子<sup>6)</sup>、  
大槻真央<sup>7)</sup>、矢倉裕輝<sup>8)</sup>、吉野宗宏<sup>9)</sup>、  
古西 満<sup>10)</sup>、杉山幸正<sup>1)</sup>

1) 奈良県立医科大学附属病院 薬剤部

2) 大阪市立総合医療センター 薬剤部

3) 大阪府立急性期・総合医療センター 薬剤部

4) 堺市立総合医療センター 薬剤部

5) 兵庫医科大学病院 薬剤部

6) 京都大学医学部附属病院 薬剤部

7) 和歌山県立医科大学附属病院 薬剤部

8) 大阪医療センター 薬剤部

9) 宇多野病院 薬剤部

10) 奈良県立医科大学 健康管理センター

### 01-008 駒込病院 HIV/AIDS 薬剤師連絡会の報告 (第2報) - 症例検討会の評価 -

朽木絵美<sup>1)</sup>、佐野俊彦<sup>1)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院薬剤科

2) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 02 抗HIV療法①

座長 鯉淵智彦

(東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科)

渡邊 大

(独立行政法人国立病院機構大阪医療センター臨床研究センター エイズ先端医療研究部)

02-009 当院におけるエムトリシタピン/テノビルアラフェナミドフマル酸塩配合錠の使用状況について

竹松茂樹<sup>1)</sup>、小田亮介<sup>1)</sup>、金井 修<sup>2)</sup>、  
桶本 幸<sup>1)</sup>、粉川俊則<sup>1)</sup>、小林勝昭<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構京都医療センター呼吸器科

02-010 名古屋医療センターにおける Tenofovir alafenamide 変更例の検討

戸上博昭<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>1)</sup>、加藤万理<sup>1)</sup>、  
福島直子<sup>1)</sup>、川口しおり<sup>1)</sup>、稲垣雄一<sup>1)</sup>、  
中畑征史<sup>2)</sup>、小暮あゆみ<sup>3)</sup>、今村淳治<sup>4)</sup>、  
蜂谷敦子<sup>5)</sup>、岩谷靖雅<sup>5)</sup>、松本修一<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>4)</sup>

1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部  
2) 国立病院機構名古屋医療センター 呼吸器科  
3) 国立病院機構名古屋医療センター 感染症科  
4) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター  
5) 国立病院機構名古屋医療センター 感染・免疫研究部

02-011 横浜市立市民病院における tenofovir alafenamide (TAF)/emtricitabine (FTC) 製剤の使用成績

吉村幸浩、宮田順之、立川夏夫

横浜市立市民病院

02-012 テノビルからテノビルアラフェナミドへの変更による腎機能に与える影響の評価

南川知央<sup>1)</sup>、下川千賀子<sup>1)</sup>、安田明子<sup>1)</sup>、  
高山次代<sup>2)</sup>、浅田裕子<sup>2)</sup>、辻 典子<sup>3)</sup>、  
齋藤千鶴<sup>4)</sup>、小谷岳春<sup>4)</sup>、渡邊珠代<sup>5)</sup>

1) 石川県立中央病院薬剤部  
2) 石川県立中央病院看護部  
3) 石川県立中央病院 HIV 事務室  
4) 石川県立中央病院血液内科  
5) 石川県立中央病院免疫感染症科

02-013 テノビルジソプロキシシルフマル酸塩 (TDF) 関連腎機能障害と薬剤変更の効果に関する検討

神尾咲留未<sup>1)</sup>、阿部憲介<sup>1)</sup>、近藤 旭<sup>1)</sup>、  
後藤達也<sup>1)</sup>、須藤美絵子<sup>2)</sup>、佐々木晃子<sup>2)</sup>、  
伊藤ひとみ<sup>2)</sup>、佐藤 功<sup>2,3)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>

1) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター薬剤部  
2) 独立行政法人国立病院機構仙台医療センター感染症内科  
3) 医療法人医徳会真壁病院

02-014 テノビルからテノビルアラフェナミドへの変更による血中脂質への影響の評価

渡邊珠代<sup>1)</sup>、高山次代<sup>2)</sup>、浅田裕子<sup>2)</sup>、  
下川千賀子<sup>3)</sup>、安田明子<sup>3)</sup>、南川知央<sup>3)</sup>、  
辻 典子<sup>4)</sup>、齋藤千鶴<sup>5)</sup>、小谷岳春<sup>5)</sup>

1) 石川県立中央病院免疫感染症科  
2) 石川県立中央病院看護部  
3) 石川県立中央病院薬剤部  
4) 石川県立中央病院 HIV 事務室  
5) 石川県立中央病院血液内科

02-015 EVG/cobi/FTC/TAF 使用症例における臨床所見の変化

安達英輔、佐藤秀憲、菊地 正、古賀道子、  
鯉淵智彦、堤 武也、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

02-016 日本人におけるゲンボイヤ配合錠の使用経験

増田純一<sup>1)</sup>、赤沢 翼<sup>1)</sup>、押賀充則<sup>1)</sup>、  
早川史織<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、  
瀧永博之<sup>2)</sup>、塚田訓久<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部  
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

02-017 抗HIV薬による治療未経験のHIV-1感染症患者にゲンボイヤ配合錠 (GEN; EVG/COBI/FTC/TAF) を投与した際の安全性

渡辺恒二<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、  
中本泰充<sup>2)</sup>、池田篤史<sup>2)</sup>、鈴木陽子<sup>2)</sup>、  
S Segal-Maurer<sup>3)</sup>、C Brinson<sup>4)</sup>、  
T Nguyen-Cleary<sup>5)</sup>、M Das<sup>5)</sup>

1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
2) 日本たばこ産業株式会社  
3) NewYork-Presbyterian Queens  
4) Central Texas Clinical Research  
5) Gilead Sciences

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第4会場(中野サンプラザ 11F ブロッサム)

## 03 カウンセリング

座長 辻 麻理子

(独立行政法人国立病院機構九州医療センター 心理療法士室)

山中京子

(大阪府立大学 地域保健学域教育福祉学類)

03-018 HIV 陽性男性の「こころの健康」についてのアンケート調査

花田容子<sup>1)</sup>、松浦基夫<sup>2)</sup>、西田幸司<sup>3)</sup>、  
草間加与<sup>3)</sup>

- 1) 堺市立総合医療センター 医事課
- 2) 堺市立総合医療センター 腎代謝免疫内科
- 3) 堺市立総合医療センター 呼吸器内科

03-019 HIV 感染症の診療支援がカウンセラーのチーム医療への介入姿勢に与える影響の解析－医療体制班アンケート調査から－

石田陽子<sup>1)</sup>、中川雄真<sup>2)</sup>、小松賢亮<sup>3)</sup>、  
渡邊愛祈<sup>3)</sup>、木村聡太<sup>3)</sup>、松岡亜由子<sup>4)</sup>、  
桐山佳奈<sup>4)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>、小島賢一<sup>5)</sup>

- 1) 北海道大学病院 HIV 診療支援センター
- 2) 新潟大学医学総合病院感染管理部
- 3) 国立国際医療研究センター病院
- 4) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 5) 荻窪病院血液凝固科

03-020 東京都エイズ専門相談員派遣制度における他支援機関等への紹介や連携のニーズと提供

宮島謙介、内野ナンティヤ、荒井アオイ、  
神谷昌枝、吉田容子、望月昌恵、臼井久美子

東京都福祉保健局 健康安全部 感染症対策課 エイズ対策担当

03-021 広島大学病院の HIV 陽性者への心理検査に至った経緯とその後の心理的支援について

杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、喜花伸子<sup>1)</sup>、山崎尚也<sup>1)</sup>、  
齊藤誠司<sup>3)</sup>、藤井輝久<sup>1)</sup>、丸山栄子<sup>1,2)</sup>、  
宮原明美<sup>1)</sup>、池田有里<sup>1)</sup>、木下一枝<sup>1)</sup>、  
石井聡一郎<sup>1)</sup>、藤井健司<sup>1)</sup>、藤田啓子<sup>1)</sup>、  
畝井浩子<sup>1)</sup>、村上英子<sup>1,2)</sup>、高田 昇<sup>4)</sup>

- 1) 広島大学病院
- 2) 公益財団法人 エイズ予防財団
- 3) 福山医療センター
- 4) 中国電力株式会社中電病院

03-022 HIV 陽性者の行動面の障害を伴う問題の心理的背景に関する研究

水木 薫<sup>1,2)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、西川歩美<sup>1,2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1) 大阪医療センター 臨床心理室
- 2) 公益財団法人 エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

03-023 当センターにおける HIV カウンセリング受療者の特徴の報告－後方視的調査－

木村聡太<sup>1,2)</sup>、小松賢亮<sup>1)</sup>、渡邊愛祈<sup>3)</sup>、  
霧生瑤子<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、  
田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、  
瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 東京都立小児総合医療センター

03-024 心理カウンセリングを契機にcART開始にいたった HIV 陽性患者

井手原千恵、松本剛史、大石晃嗣

三重大学医学部附属病院輸血部・血液内科

03-025 薬害 HIV 感染被害者の個別救済における精神的問題の支援の実態－その1－

辻 麻理子<sup>1)</sup>、平野植子<sup>1)</sup>、山下結以<sup>1)</sup>、  
首藤美奈子<sup>2)</sup>、高濱宗一郎<sup>2)</sup>、本田慎一<sup>3)</sup>、  
山本政弘<sup>2)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター心理療法士室・臨床研究センター
- 2) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター・臨床研究センター
- 3) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター 精神神経科・臨床研究センター

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第5会場(中野サンプラザ 11 F アネモ)

## 04 検査・相談体制

座長 今村顕史

(がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科)

貞升健志

(東京都健康安全研究センター 微生物部)

04-026 梅毒啓発を利用した新たな HIV 受検勧奨法についての検討

今村顕史<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、堅多敦子<sup>2)</sup>、土屋菜歩<sup>3)</sup>、本間隆之<sup>4)</sup>、貞升健志<sup>5)</sup>

- 1) がん・感染症センター 都立駒込病院感染症科
- 2) 東京都福祉保健局健康安全部感染症対策課
- 3) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 4) 山梨県立大学看護学部
- 5) 東京都健康安全研究センター

04-027 東京都内保健所・検査所における梅毒検査実施状況および陽性率に関するアンケート調査

土屋菜歩<sup>1)</sup>、堅多敦子<sup>2)</sup>、稲垣智一<sup>3)</sup>、石丸雄二<sup>4)</sup>、城所敏英<sup>5)</sup>、三宅 慧<sup>6)</sup>、渡部ゆう<sup>6)</sup>、大木幸子<sup>7)</sup>、今村顕史<sup>8)</sup>

- 1) 東北大学東北メディカル・メガバンク機構
- 2) 東京都福祉保健局
- 3) 港区みなと保健所
- 4) 豊島区池袋保健所
- 5) 島しょ保健所
- 6) 新宿区保健所
- 7) 杏林大学保健学部
- 8) がん・感染症センター都立駒込病院

04-028 新規 HIV 抗体確認検査試薬である Geenius HIV Confirmatory Assay の検討

佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、川畑拓也<sup>3)</sup>、小島洋子<sup>3)</sup>、森 治代<sup>3)</sup>、井戸田一朗<sup>4)</sup>、岩室紳也<sup>5)</sup>、立川夏夫<sup>6)</sup>、藤原 宏<sup>2)</sup>、長谷川直樹<sup>2)</sup>、加藤真吾<sup>2)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所
- 2) 慶応義塾大学医学部
- 3) 大阪健康安全基盤研究所
- 4) しらかば診療所
- 5) 厚木市立病院
- 6) 横浜市立市民病院

04-029 新しい HIV 確認検査試薬“Geenius™”の性能評価

川畑拓也<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、佐野貴子<sup>2)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、須藤弘二<sup>3)</sup>、加藤真吾<sup>3)</sup>

- 1) 大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課
- 2) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 3) 慶応義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

04-030 東京都南新宿検査・相談室における HIV 検査相談の取り組みについて ～受検者ニーズの分析と検査時カウンセリング対応の検討～

矢永由里子<sup>1,2)</sup>、櫻井具子<sup>1,3)</sup>、角田洋隆<sup>1)</sup>、今井朋美<sup>1)</sup>、小沼和広<sup>1)</sup>、川畑貴子<sup>1)</sup>、宮腰辰男<sup>1)</sup>、城所敏英<sup>1)</sup>

- 1) 東京都南新宿検査・相談室
- 2) 慶応義塾大学医学部感染制御センター
- 3) 遠藤嗜癩問題相談室

04-031 千葉県臨床検査技師会が行っている休日街頭 HIV 抗体検査の実施状況について

布施義也<sup>1)</sup>、谷口俊文<sup>2)</sup>、中山 茂<sup>1)</sup>、綿引一成<sup>1)</sup>、吉田 隆<sup>1)</sup>、東 和彦<sup>1)</sup>、小野寺清隆<sup>1)</sup>、大野光江<sup>1)</sup>、三末高央<sup>1)</sup>、小川 優<sup>1)</sup>、下条小百合<sup>1)</sup>、小林 健<sup>1)</sup>、坂本浩輝<sup>1)</sup>

- 1) 千葉県臨床検査技師会
- 2) 千葉大学医学部附属病院 感染症内科 感染制御部

04-032 N 区における地方公共団体と NPO 法人の連携による HIV 検査相談事業の実践

藤部荒術<sup>1)</sup>、橋本広志<sup>1)</sup>、嶋田憲司<sup>1)</sup>、河口和也<sup>2)</sup>、高嶋能文<sup>3)</sup>、飯塚信吾<sup>1)</sup>、太田昌二<sup>1)</sup>、新美 広<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人動くゲイとレズビアンのかい (アカー)
- 2) 広島修道大学
- 3) 医療法人社団めぐみ会 自由が丘メディカルプラザ 2 小児科

■日時：11月24日(金) 10:10～11:40

■会場：第6会場(コンgresクエア中野 B1F ホールA・B)

## 05 看護

座長 佐藤知恵

(東京医科大学病院 看護部)

長與由紀子

(国立病院機構九州医療センター 看護部)

### 05-033 全国エイズ診療拠点病院のHIV/AIDS看護体制に関する調査(1)～患者ケア実施の現状と課題に対する検討～

渡部恵子<sup>1)</sup>、大野稔子<sup>1)</sup>、藤田和華子<sup>1)</sup>、  
佐々木晃子<sup>2)</sup>、伊藤ひとみ<sup>2)</sup>、須藤美絵子<sup>2)</sup>、  
川口 玲<sup>3)</sup>、高山次代<sup>4)</sup>、羽柴知恵子<sup>5)</sup>、  
東 政美<sup>6)</sup>、丸山栄子<sup>7)</sup>、長與由紀子<sup>8)</sup>、  
杉野祐子<sup>9)</sup>、大金美和<sup>9)</sup>、池田和子<sup>9)</sup>

- 1) 北海道大学病院
- 2) 仙台医療センター
- 3) 新潟大学医歯学総合病院
- 4) 石川県立中央病院
- 5) 名古屋医療センター
- 6) 大阪医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 九州医療センター
- 9) 国立国際医療研究センター

### 05-034 全国エイズ診療拠点病院のHIV/AIDS看護体制に関する調査(2)～患者相談内容とその課題からみるHIV担当看護師への支援に関する検討～

佐々木晃子<sup>1)</sup>、須藤美絵子<sup>1)</sup>、伊藤ひとみ<sup>1)</sup>、  
渡部恵子<sup>2)</sup>、大野稔子<sup>2)</sup>、藤田和華子<sup>2)</sup>、  
川口 玲<sup>3)</sup>、高山次代<sup>4)</sup>、羽柴知恵子<sup>5)</sup>、  
東 政美<sup>6)</sup>、丸山栄子<sup>7)</sup>、長與由紀子<sup>8)</sup>、  
杉野祐子<sup>9)</sup>、大金美和<sup>9)</sup>、池田和子<sup>9)</sup>

- 1) 仙台医療センター
- 2) 北海道大学病院
- 3) 新潟大学医歯学総合病院
- 4) 石川県立中央病院
- 5) 名古屋医療センター
- 6) 大阪医療センター
- 7) 広島大学病院
- 8) 九州医療センター
- 9) 国立国際医療研究センター

### 05-035 沖縄県内訪問看護ステーションの職員が抱くHIV/AIDS患者の受け入れに関する現状調査－第一報－

宮城京子<sup>1,2)</sup>、豊里竹彦<sup>2)</sup>、前田サオリ<sup>1)</sup>、  
當山国江<sup>1)</sup>、石郷岡美穂<sup>1)</sup>、友利晃子<sup>1)</sup>、  
諸見牧子<sup>1)</sup>、上原 仁<sup>1)</sup>、大城市子<sup>1)</sup>、  
辺士名優美子<sup>1)</sup>、上 薫<sup>3)</sup>、石原美紀<sup>1)</sup>、  
島袋奈津紀<sup>1)</sup>、健山正男<sup>3)</sup>、大嶺千代美<sup>1)</sup>、  
藤田次郎<sup>1,3)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院
- 2) 琉球大学大学院保健学研究科基礎看護学分野
- 3) 琉球大学大学院医学研究科 感染症・呼吸器・消化器内科学分野

### 05-036 抗HIV薬服用中の患者における服薬アドヒアランスの維持・向上方法の検討

丸山栄子<sup>1,2)</sup>、山根由衣<sup>3)</sup>、宮原明美<sup>4)</sup>、  
池田有里<sup>4)</sup>、木下一枝<sup>4)</sup>、山崎尚也<sup>1,5)</sup>、  
藤井輝久<sup>1,5)</sup>、齊藤誠司<sup>6)</sup>、杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、  
喜花伸子<sup>1)</sup>、村上英子<sup>1,2)</sup>、藤井健司<sup>7)</sup>、  
高田 昇<sup>8)</sup>

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) (公財)エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 広島大学大学院医歯薬保健学研究科
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島大学病院輸血部
- 6) 国立病院機構福山医療センター感染症内科
- 7) 広島大学病院薬剤部
- 8) 中国電力株式会社中電病院臨床検査科

### 05-037 AIDS関連悪性リンパ腫で臍帯血移植を行った一症例について振り返る－HIV看護の視点から－

宮林優子

横浜市立市民病院看護部

### 05-038 緊急入院・緊急透析となった患者の意思決定支援

前田サオリ<sup>1)</sup>、宮城京子<sup>1)</sup>、健山正男<sup>2)</sup>、  
諸見牧子<sup>3)</sup>、上原 仁<sup>3)</sup>、石郷岡美穂<sup>4)</sup>、  
大城市子<sup>5)</sup>、辺士名優美子<sup>5)</sup>、本永久美子<sup>1)</sup>、  
大嶺千代美<sup>1)</sup>、藤田次郎<sup>2)</sup>

- 1) 琉球大学医学部附属病院 看護部
- 2) 同大学医学部研究科感染症・呼吸器・消化器内科学講座
- 3) 同病院薬剤部
- 4) 同病院地域医療部
- 5) 沖縄県HIV派遣カウンセラー

## 05-039 認知機能障害を合併したポルトガル語母語の HIV/AIDS 患者および家族との関わり

山口実香<sup>1)</sup>、小林瑞枝<sup>1)</sup>、手嶋千とせ<sup>1)</sup>、  
中村聡洋<sup>1)</sup>、松尾史織<sup>1)</sup>、笹本茉里<sup>1)</sup>、  
石崎芳美<sup>1)</sup>、林 陽子<sup>3)</sup>、柳澤邦雄<sup>2)</sup>、  
小川孔幸<sup>2)</sup>、半田 寛<sup>2)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院 看護部  
2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科  
3) 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター

■日時：11月24日(金) 14:30～16:00

■会場：第2会場(中野サンプラザ13F スカイ)

## 06 ソーシャルワーク・滞在外国人

座長 北島 勉

(杏林大学 総合政策学部)

沢田貴志

(神奈川県勤労者医療生活協同組合港町診療所)

## 06-040 生活課題を抱えた HIV 感染血友病患者に対するソーシャルワークの一考察

首藤美奈子、南 留美、高濱宗一郎、城崎真弓、  
辻 麻理子、山本正弘

国立病院機構九州医療センター

## 06-041 感染がわかって6ヶ月以内のピア・グループ・ミーティングの参加者に関する考察

加藤力也、佐藤郁夫、牧原信也、福原寿弥、  
池上千寿子、生島 嗣、三輪岳史

特定非営利活動法人ふれいす東京

## 06-042 HIV 陽性者の長期療養体制整備に求められる課題の抽出と分析

小笠原 太<sup>1)</sup>、津々見瑞恵<sup>1)</sup>、福長暖奈<sup>1)</sup>、  
本田美和子<sup>2)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 医療福祉相談室  
2) 独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 総合内科

## 06-043 エイズ診療地域連携を目指した研修会～アンケート調査による研修会有用性の検討 第2報～

小野恵子<sup>1)</sup>、末盛浩一郎<sup>2)</sup>、古川泰弘<sup>1)</sup>、  
若松 綾<sup>3)</sup>、武田怜子<sup>3)</sup>、芝田佳香<sup>3)</sup>、  
乗松真大<sup>4)</sup>、木村博史<sup>4)</sup>、中尾 綾<sup>2)</sup>、  
山岡多恵<sup>3)</sup>、井門敬子<sup>4)</sup>、高田清式<sup>5)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 総合診療サポートセンター  
2) 第1内科  
3) 看護部  
4) 薬剤部  
5) 総合臨床研修センター

## 06-044 ニューヨークにおける HIV/AIDS ソーシャルワークと NPO の活動

中村みのり

Bailey House

## 06-045 HIV 陽性者等の HIV に関する相談・支援事業(ピア・カウンセリング等による支援事業)における在日外国人のサポートの現状と課題

生島 嗣<sup>1)</sup>、牧原信也<sup>1)</sup>、福原寿弥<sup>1)</sup>、  
岩木エリーザ<sup>2)</sup>、山本裕子<sup>3)</sup>、廣野富美子<sup>3)</sup>、  
池上千寿子<sup>1)</sup>、佐藤郁夫<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ふれいす東京  
2) CRIATIVOS 保健プロジェクト  
3) 特定非営利活動法人シェア=国際保健協力市民の会

## 06-046 多言語インターネット調査システムの開発と MSM を含む外国国籍者を対象とする調査

高久道子<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、  
岩木エリーザ<sup>3)</sup>

- 1) 人間環境大学大学院看護学研究科  
2) 名古屋市立大学看護学部  
3) CRIATIVOS PROJECTO SAUDE

## 06-047 横浜市立市民病院における HIV-1 外国人患者の背景

宮林優子、松本雅美、寺澤美穂、吉村幸浩、  
宮田順之、立川夏夫

横浜市立市民病院

## 06-048 言語と医療：チームで臨んだアフリカ出身 AIDS 患者の援助を通じて

天田麻里<sup>1)</sup>、柳澤邦雄<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>2)</sup>、  
小林瑞枝<sup>3)</sup>、中村聡洋<sup>3)</sup>、山口実香<sup>3)</sup>、  
石崎芳美<sup>3)</sup>、青木優一<sup>4)</sup>、金井友里<sup>5)</sup>、  
真下貴子<sup>6)</sup>、半田 寛<sup>2)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院 医事課
- 2) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 3) 群馬大学医学部附属病院 看護部
- 4) 群馬大学医学部附属病院 患者支援センター
- 5) 群馬大学医学部附属病院 栄養管理部
- 6) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部

■日時：11月24日(金) 14:30～16:00

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 07 抗 HIV 療法②

座長 矢倉裕輝

(国立病院機構大阪医療センター 薬剤部)

山本政弘

(NHO九州医療センター AIDS/HIV 総合治療センター)

## 07-049 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査 — 抗 HIV 薬の薬剤変更状況調査 (2017年)

小島賢一<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>3)</sup>、  
関根祐介<sup>4)</sup>

- 1) 荻窪病院血液凝固科
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 国立国際医療研究センター 薬剤部
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部

## 07-050 抗 HIV 療法と服薬援助のための基礎的調査 — 治療開始時の抗 HIV 薬処方動向調査 (2017年)

日笠 聡<sup>1)</sup>、小島賢一<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>3)</sup>、  
関根祐介<sup>4)</sup>

- 1) 兵庫医科大学血液内科
- 2) 荻窪病院血液凝固科
- 3) 国立国際医療研究センター 薬剤部
- 4) 東京医科大学病院 薬剤部

## 07-051 日本の Single Tablet Regimen (STR) の使用動向と導入されなかった STR の検証

桑原 健<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、小島賢一<sup>3)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 2) 兵庫医科大学血液内科
- 3) 荻窪病院血液凝固科

## 07-052 新規抗 HIV 薬のドラッグラグに対する厚生省通知 (医薬審第 1015号) の影響

山本善彦<sup>1)</sup>、桑原 健<sup>2)</sup>、小野俊介<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学大学院薬学系研究科医薬品評価科学講座
- 2) 国立国際医療研究センター薬剤部

## 07-053 抗 HIV 薬の選択の変化と年齢層別の解析に関する検討

栗原瑞季<sup>1)</sup>、原 量平<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、  
赤沢 翼<sup>1)</sup>、押賀充則<sup>1)</sup>、早川史織<sup>1)</sup>、  
田沼順子<sup>2)</sup>、照屋勝治<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、  
塚田訓久<sup>2)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## 07-054 抗 HIV 薬と向精神薬の併用に関する調査

原 量平<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、赤沢 翼<sup>1)</sup>、  
押賀充則<sup>1)</sup>、早川史織<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>2)</sup>、  
照屋勝治<sup>2)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、塚田訓久<sup>2)</sup>、  
桑原 健<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター

## 07-055 外国籍の小児 HIV 感染症患者へ服薬支援した一例

茂野絢子<sup>1)</sup>、久保拓己<sup>1)</sup>、赤沢 翼<sup>1)</sup>、  
押賀充則<sup>1)</sup>、早川史織<sup>1)</sup>、増田純一<sup>1)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、田沼順子<sup>3)</sup>、桑原 健<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>3)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 薬剤部
- 2) 国立国際医療研究センター病院 小児科
- 3) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

## 07-056 抗 HIV 療法が小児免疫状態に及ぼす影響

畢 袖晴<sup>1)</sup>、石崎有澄美<sup>1)</sup>、  
NguyenLam Van<sup>2)</sup>、  
Nguyen Binh Thank<sup>2)</sup>、  
NguyenDuyen Thi<sup>2)</sup>、  
PhamHung Viet<sup>2)</sup>、  
Phan Chung Thi Thu<sup>2)</sup>、  
PhungThuy Thi Bick<sup>2)</sup>、  
PhamAn Nhat<sup>2)</sup>、  
KhuDung Thi Khanh<sup>2)</sup>、市村 宏<sup>1)</sup>

- 1) 金沢大学・医学系
- 2) ハノイ市国立小児病院

■日時：11月24日(金) 14:30～16:00

■会場：第4会場(中野サンプラザ 11F ブロッサム)

## 08 医療体制・政策

座長 根岸昌功

(ねぎし内科)

横幕能行

(国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター)

08-057 アジア感染症対策プロジェクト HIV / エイズ共同調査研究について

堅多敦子

東京都福祉保健局

08-058 拠点病院定期通院者の抗 HIV 療法による HIV 複製制御の達成度評価 — 我が国の HIV 感染症 / エイズ診療体制整備の成果 —

横幕能行<sup>1)</sup>、伊藤俊広<sup>2)</sup>、山本政弘<sup>3)</sup>、岡 慎一<sup>4)</sup>、豊嶋崇徳<sup>5)</sup>、田邊嘉也<sup>6)</sup>、渡邊珠代<sup>7)</sup>、白阪琢磨<sup>8)</sup>、藤井輝久<sup>9)</sup>、宇佐美雄司<sup>1)</sup>、池田和子<sup>4)</sup>、吉野宗宏<sup>10)</sup>、本田美和子<sup>11)</sup>、葛田衣重<sup>12)</sup>、小島賢一<sup>13)</sup>、内藤俊夫<sup>14)</sup>、安藤 稔<sup>15)</sup>

- 1) 名古屋医療センター
- 2) 仙台医療センター
- 3) 九州医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) 北海道大学病院
- 6) 新潟大学医学部総合病院
- 7) 石川県立中央病院
- 8) 大阪医療センター
- 9) 広島大学病院
- 10) 構宇多野病院
- 11) 東京医療センター
- 12) 千葉大学医学部附属病院
- 13) 荻窪病院
- 14) 順天堂大学
- 15) 東京都立府中療育センター

08-059 当院における警視庁浅草警察署拘留中の HIV 感染者の診療実績

小田島 純

医療法人社団新吉原会新吉原検診所

08-060 診療所における HIV 感染症診療の試み — 第 10 報

根岸昌功、河村祐貴子、織田幸子、西岡春菜

ねぎし内科診療所

08-061 早期抗 HIV 療法時代の HIV 検査から抗 HIV 療法開始までの期間の現実

小林路世<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>2)</sup>、渡辺直子<sup>3)</sup>、福田あかり<sup>1)</sup>、白井みゆき<sup>1)</sup>、佐藤秀憲<sup>3)</sup>、安達英輔<sup>3)</sup>、古賀道子<sup>3)</sup>、堤 武也<sup>3)</sup>、鯉淵智彦<sup>3)</sup>、四柳 宏<sup>3)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院看護部
- 2) 東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科
- 3) 東京大学医科学研究所附属病院地域医療連携室

08-062 中野区における HIV/AIDS をめぐる議会の質問と行政の取り組み

石坂わたる

中野区議会

08-063 公的資金によるエイズ対策研究の実施における研究の企画と評価に関する実践的活動の実際と課題

天野景裕<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>2)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科大学医学部医学科
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月24日(金) 14:30～16:00

■会場：第5会場(中野サンプラザ 11F アネモ)

## 09 新薬開発

座長 玉村啓和

(東京医科歯科大学 生体材料工学研究所)

前田賢次

(国立研究開発法人 国立国際医療研究センター 研究所)

09-064 カプシド蛋白質由来ペプチドを基にした新規抗 HIV-1 剤の創製

村上 努<sup>1)</sup>、金子萌美<sup>2)</sup>、藤野真之<sup>1)</sup>、野村 涉<sup>2)</sup>、玉村啓和<sup>2)</sup>

- 1) 国立感染症研究所エイズ研究センター
- 2) 東京医科歯科大学生体材料工学研究所生体機能分子研究部門メディシナルケミストリー分野

## 09-065 網羅的 Env 標的阻害剤ライブラリーの構築 -2

原田恵嘉<sup>1)</sup>、野村 渉<sup>2)</sup>、鳴海哲夫<sup>3)</sup>、  
横山 勝<sup>4)</sup>、前田賢次<sup>5)</sup>、林 宏典<sup>5)</sup>、  
紺野奇重<sup>2)</sup>、引地優太<sup>1)</sup>、佐藤裕徳<sup>4)</sup>、  
玉村啓和<sup>2)</sup>、俣野哲朗<sup>1)</sup>、吉村和久<sup>1)</sup>

- 1) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 2) 東京医科歯科大学 生体材料工学研究所 生体機能分子研究部門
- 3) 静岡大学大学院 総合科学技術研究科工学専攻
- 4) 国立感染症研究所 病原体ゲノム解析研究センター
- 5) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部

## 09-066 多剤耐性 HIV 変異株にも強力な抗ウイルス活性を発揮する新規 HIV プロテアーゼ阻害剤の同定

服部真一郎<sup>1)</sup>、林 宏典<sup>1)</sup>、青木 学<sup>2)</sup>、  
長谷川和也<sup>3)</sup>、Haydar Bulut<sup>2)</sup>、  
Debananda Das<sup>2)</sup>、前田賢次<sup>1)</sup>、  
Arun Ghosh<sup>4)</sup>、満屋裕明<sup>1,2,5)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター研究所難治性ウイルス感染症研究部
- 2) National Cancer Institute・National Institute of Health
- 3) 高輝度光科学研究センタータンパク質結晶解析推進室
- 4) Department of Chemistry and Medicinal Chemistry, Purdue University
- 5) 熊本大学総合臨床研究部

## 09-067 変異 HIV-RT (Q151M) と抗 HBV 薬 entecavir の活性と結晶構造を基盤とした HIV-RT と HBV-RT の構造学的検討

前田賢次<sup>1)</sup>、安武義晃<sup>2)</sup>、田村範子<sup>2)</sup>、  
服部真一郎<sup>1)</sup>、林 宏典<sup>1)</sup>、松田幸樹<sup>1)</sup>、  
高松悠樹<sup>3)</sup>、向後 悟<sup>1,4)</sup>、満屋裕明<sup>1,5)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター・研究所
- 2) 産総研・生物プロセス
- 3) NIH・Natl Cancer Inst
- 4) 崇城大学・薬
- 5) 熊本大・総合臨床研究部

## 09-068 GRL-079, a novel P2-Tp-THF-C5-alkylamine- and P2' -Abt-containing HIV-1 protease inhibitor, is extremely potent against a wide spectrum of HIV<sup>MDR</sup>s

Nicole S. Delino<sup>1,2)</sup>、Aoki Manabu<sup>1)</sup>、  
Hayashi Hironori<sup>2)</sup>、  
Hattori Shin-ichiro<sup>2)</sup>、  
Simon B. Chang<sup>1)</sup>、Takamatsu Yuki<sup>1)</sup>、  
Cuthbert D. Martyr<sup>3)</sup>、  
Debananda Das<sup>1)</sup>、Arun K. Ghosh<sup>3)</sup>、  
and Mitsuya Hiroaki<sup>1,2)</sup>

- 1) Exp Retrovirol Sect, HIV and AIDS Malig Branch, Natl Cancer Inst, NIH, Bethesda, MD
- 2) Natl Center for Global Health and Med Res Inst, Tokyo
- 3) Depts of Chem & Med Chem, Purdue Univ, West Lafayette, IN

## 09-069 HIV 潜伏感染細胞を標的とした新規治療薬開発に有効な *in vitro* 評価系の開発

松田幸樹<sup>1)</sup>、服部真一郎<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>2)</sup>、  
小早川拓也<sup>3)</sup>、大橋南美<sup>3)</sup>、野村 渉<sup>3)</sup>、  
原田恵嘉<sup>4)</sup>、佐藤賢文<sup>5)</sup>、吉村和久<sup>4)</sup>、  
玉村啓和<sup>3)</sup>、満屋裕明<sup>1,6,7)</sup>、前田賢次<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター・研究所
- 2) 国立国際医療研究センター・エイズ治療研究開発センター
- 3) 東京医科歯科大学・生体材料工学研究所
- 4) 国立感染症研究所・エイズ研究センター
- 5) 熊本大学・エイズ学研究センター
- 6) 熊本大学・総合臨床研究部
- 7) National Cancer Institute/NIH, USA

## 09-070 新規 PKC activator、10-Methyl-Aplog-1 は HIV-1 を再活性化する有用な Latency Reversing Agent である

鷲崎彩夏<sup>1)</sup>、村田めぐみ<sup>1)</sup>、関 洋平<sup>1)</sup>、  
Yin PuiTang<sup>2)</sup>、寒川裕之<sup>3)</sup>、入江一浩<sup>4)</sup>、  
明里宏文<sup>1,3)</sup>

- 1) 京都大学 霊長類研究所
- 2) University of Exter Medical School
- 3) 京都大学 ウイルス・再生医学研究所
- 4) 京都大学大学院 農学研究科

## 09-071 抗レトロウイルス療法下で形成された潜伏感染細胞内の再活性化の定量

鈴木一雄

St Vincent's Centre for Applied Medical  
Research, Sydney, Australia

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第2会場(中野サンプラザ13F スカイ)

## 010 薬害 HIV

座長 伊藤美樹子

(滋賀医科大学 公衆衛生看護学講座)

井上洋士

(放送大学、株式会社アクセライト、調査研究コンサルティング事業部)

### 010-072 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第2報 生活状況の概要

川戸美由紀<sup>1)</sup>、橋本修二<sup>1)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、  
岡 慎一<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>3)</sup>、福武勝幸<sup>4)</sup>、  
日笠 聡<sup>5)</sup>、八橋 弘<sup>6)</sup>、白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1) 藤田保健衛生大学医学部衛生学
- 2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター
- 4) 東京医科大学 医学部 臨床検査医学講座
- 5) 兵庫医科大学病院 血液内科
- 6) 国立病院機構長崎医療センター 臨床研究センター

### 010-073 HIV 感染血友病患者の新たなサポート形成とコミュニティ構築の必要性

阿部直美<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、久地井寿哉<sup>2)</sup>、  
岩野友里<sup>2)</sup>、柿沼章子<sup>2)</sup>、大平勝美<sup>2)</sup>、  
紅粉真衣<sup>1)</sup>、小山美紀<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、  
田沼順子<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>、木村 哲<sup>3)</sup>

- 1) 国立研究法人国立国際医療研究センター病院エイズ治療・研究開発センター
- 2) 社会福祉法人はばたき福祉事業団
- 3) 公益財団法人エイズ予防財団

### 010-074 血友病由来 HIV 感染者の心理的支援方法の検討

藤原良次<sup>1)</sup>、橋本 謙<sup>2)</sup>、山田富秋<sup>3)</sup>、  
種田博之<sup>4)</sup>、入江恵子<sup>5)</sup>、小川良子<sup>1)</sup>、  
早坂典生<sup>1)</sup>、藤原 都<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>6)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人りょうちゃんず
- 2) 岐阜県/愛知県スクールカウンセラー
- 3) 松山大学
- 4) 産業医科大学
- 5) 九州国際大学
- 6) 国立病院機構大阪医療センター

### 010-075 薬害 HIV 感染被害者の長期療養における個別支援の強化(第一報):支援成果と課題

柿沼章子、久地井寿哉、岩野友里、大平勝美  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

010-076 薬害 HIV 感染被害者の長期療養における個別支援の強化(第二報):健康寿命延伸を目指した支援介入前ベースライン QOL の評価

久地井寿哉、柿沼章子、岩野友里、大平勝美  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

010-077 薬害 HIV 感染被害者の長期療養における個別支援の強化(第三報):従来の相談支援の枠を超えた寄り添い支援により、心と行動変容が起きた一事例

岩野友里、久地井寿哉、柿沼章子、大平勝美  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

010-078 HIV 感染血友病等患者の効果的な社会資源利用についての検討

小山美紀<sup>1)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、阿部直美<sup>1)</sup>、  
谷口 紅<sup>1)</sup>、紅粉真衣<sup>1,2)</sup>、鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、  
久地井寿哉<sup>3)</sup>、岩野友里<sup>3)</sup>、柿沼章子<sup>3)</sup>、  
大平勝美<sup>3)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、  
瀧永博之<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、  
木村 哲<sup>3)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

010-079 遺族健診受診支援事業における HIV 感染血友病患者の遺族の現況と課題

紅粉真衣<sup>1,2)</sup>、大金美和<sup>1)</sup>、小松賢亮<sup>1)</sup>、  
近江峰子<sup>3)</sup>、久地井寿哉<sup>3)</sup>、岩野友里<sup>3)</sup>、  
柿沼章子<sup>3)</sup>、大平勝美<sup>3)</sup>、阿部直美<sup>1)</sup>、  
鈴木ひとみ<sup>1)</sup>、池田和子<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、  
田沼順子<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団
- 3) 社会福祉法人はばたき福祉事業団

010-080 薬害 HIV 遺族健診事業に関する研究 ー 利用動機、利用上の困難、利用者による事業への評価、健診後の地元医療機関受診状況に関する検討 ー

西川歩美<sup>1,2)</sup>、安尾利彦<sup>1)</sup>、水木 薫<sup>1,2)</sup>、  
白阪琢磨<sup>3)</sup>

- 1) 大阪医療センター 臨床心理室
- 2) 公益財団法人 エイズ予防財団 リサーチレジデント
- 3) 大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 011 生活習慣病関連合併症

座長 天野景裕

(東京医科大学 臨床検査医学分野)

伊藤俊広

(独立行政法人国立病院機構仙台医療センター HIV/AIDS 包括医療センター・感染症内科)

011-081 当院における HIV 感染者の合併症と併用薬の使用状況からかかりつけ医の必要性を考える

松井綾香<sup>1)</sup>、野村直幸<sup>1)</sup>、坂田達朗<sup>1)</sup>、  
齊藤誠司<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>2)</sup>、板野 亨<sup>1)</sup>、  
相良義弘<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構福山医療センター

2) 川崎医科大学付属病院

011-082 当院における ART 施行中の高齢者を対象とした処方調査

中内崇夫<sup>1)</sup>、富島公介<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、  
上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

011-083 HIV 患者の合併症、ポリファーマシーの現状調査と今後の課題 ～処方動向からの検討～

平野 淳<sup>1)</sup>、加藤万理<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、  
戸上博昭<sup>1)</sup>、稲垣雄一<sup>1)</sup>、川口しおり<sup>1)</sup>、  
小暮あゆみ<sup>2)</sup>、中畑征史<sup>2)</sup>、今村淳治<sup>3)</sup>、  
蜂谷敦子<sup>4)</sup>、岩谷靖雅<sup>4)</sup>、松本修一<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>3)</sup>

1) 国立病院機構 名古屋医療センター 薬剤部

2) 国立病院機構 名古屋医療センター 感染症科

3) 国立病院機構 名古屋医療センター エイズ治療開発センター

4) 国立病院機構 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染免疫研究部

011-084 HIV 感染患者の動脈硬化の危険因子・vWF 高値症例の臨床的特徴の解析

宮川寿一、中田浩智、天野将之、中村朋文、  
松岡雅雄

熊本大学医学部附属病院 血液・膠原病・感染症内科

011-085 HIV 感染者における脂肪肝評価 controlled attenuation parameter (CAP) の検討

村田昌之、加勢田富士子、松本佑慈、有吉拓哉、  
上山貴嗣、山崎 奨、高山耕治、豊田一弘、  
小川栄一、古庄憲浩

九州大学病院総合診療科

011-086 HIV 感染者における高尿酸血症の有病率と関連する因子

菊地 正、佐藤秀憲、安達英輔、古賀道子、  
堤 武也、鯉淵智彦、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染免疫内科

011-087 TDF から TAF 変更による骨密度への影響

高濱宗一郎<sup>1)</sup>、南 留美<sup>1)</sup>、山地由恵<sup>2)</sup>、  
犬丸真司<sup>2)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、  
山本政弘<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 九州医療センター 免疫感染症内科

2) 国立病院機構 九州医療センター 看護部

011-088 若年 HIV 感染者の骨密度低下に関連するリスク因子の検討

谷口俊文<sup>1)</sup>、築地茉莉子<sup>2)</sup>、櫻井隆之<sup>1)</sup>、  
猪狩英俊<sup>1)</sup>

1) 千葉大学医学部附属病院感染症内科

2) 千葉大学医学部附属病院薬剤部

011-089 HIV 感染者における末梢血単核球のテロメア長及びミトコンドリア DNA 量の経時変化

南 留美、高濱宗一郎、小松真梨子、城崎真弓、  
長與由紀子、犬丸真司、山本政弘

国立病院機構九州医療センター

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第5会場(中野サンプラザ 11F アネモ)

## 012 免疫

座長 滝口雅文

(熊本大学 エイズ学研究センター)

山本浩之

(国立感染症研究所 エイズ研究センター第二研究グループ)

### 012-090 カプシド領域の変異は HIV-1 の IFN 感受性を制御する

齊藤 暁<sup>1)</sup>、Tahmina Sultana<sup>1)</sup>、  
大出裕高<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>2)</sup>、中山英美<sup>1)</sup>、  
塩田達雄<sup>1)</sup>

1) 大阪大学微生物病研究所  
2) 国立病院機構名古屋医療センター

### 012-091 STING リガンドによるウイルス抑制機能の高い HIV-1 特異的 CD8 陽性 T 細胞のプライミング

久世 望<sup>1)</sup>、Sun Xiaoming<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
Lissina Anna<sup>2)</sup>、山本拓也<sup>1,3)</sup>、  
Appay Victor<sup>2,4)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター  
2) INSERM U1135・CIMI-Paris  
3) 医薬基盤・健康・栄養研究所  
4) 熊本大学国際先端医学研究拠点

### 012-092 複数の異なった HLA 拘束性 CTL による RT135 変異の選択とその相互作用

赤星智寛<sup>1)</sup>、久世 望<sup>1)</sup>、村越勇人<sup>1)</sup>、  
近田貴敬<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>、  
滝口雅文<sup>1,3)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター  
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター  
3) University of Oxford

### 012-093 強い HIV-1 増殖抑制能を有した CTL による変異 HIV-1 の認識

村越勇人<sup>1)</sup>、久世 望<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
近田貴敬<sup>1)</sup>、Zhang Yu<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、  
岡 慎一<sup>1,2)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター  
2) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

### 012-094 SIV 複製制御個体における SIV 野生型 / 変異型エピトープ特異的 CTL 誘導動態の解析

野村拓志<sup>1,2)</sup>、石井 洋<sup>1)</sup>、関 紗由里<sup>1)</sup>、  
山本浩之<sup>1)</sup>、寺原和孝<sup>3)</sup>、三浦智行<sup>4)</sup>、  
俣野哲朗<sup>1,5)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 熊本大学エイズ学研究センター  
3) 国立感染症研究所免疫部  
4) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所霊長類モデル研究分野  
5) 東京大学医科学研究所

### 012-095 SIV<sub>mac239</sub> 持続感染アカゲサル群におけるポリクローナルなウイルス特異的中和抗体応答の解析

菅野芳明<sup>1,2)</sup>、野村拓志<sup>1,3)</sup>、  
Hau Thi Thu Trang<sup>1,4)</sup>、俣野哲朗<sup>1,5)</sup>、  
山本浩之<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
2) 東京大学大学院医学系研究科  
3) 熊本大学エイズ学研究センター  
4) 熊本大学大学院医学教育部  
5) 東京大学医科学研究所

### 012-096 SIV 感染サルをモデルとした中和抗体誘導メカニズムの解析

桑田岳夫<sup>1)</sup>、佐野雅人<sup>2)</sup>、松岡佐織<sup>2)</sup>、  
俣野哲朗<sup>2)</sup>、関 洋平<sup>3)</sup>、明里宏文<sup>3,4)</sup>、  
三浦智行<sup>4)</sup>、松下修三<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター  
2) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
3) 京都大学霊長類研究所  
4) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所

### 012-097 カニクイザルにおける HIV-1 mt 長期潜伏感染の解析

関 洋平<sup>1)</sup>、齊藤 暁<sup>1)</sup>、佐藤賢文<sup>2)</sup>、  
原田恵嘉<sup>3)</sup>、吉村和久<sup>3)</sup>、大出裕高<sup>4)</sup>、  
岩谷靖雅<sup>4)</sup>、石井 洋<sup>3)</sup>、M SaifullIslam<sup>2)</sup>、  
芳田 剛<sup>1)</sup>、村田めぐみ<sup>1)</sup>、鷲崎彩夏<sup>1)</sup>、  
保富康宏<sup>5)</sup>、俣野哲朗<sup>3)</sup>、三浦智行<sup>6)</sup>、  
明里宏文<sup>1,6)</sup>

1) 京都大学霊長類研究所  
2) 熊本大学エイズ学研究センター  
3) 国立感染症研究所エイズ研究センター  
4) 国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター  
5) 医薬基盤・健康・栄養研究所霊長類医学研究センター  
6) 京都大学ウイルス・再生医科学研究所

■日時：11月24日(金) 17:10～18:40

■会場：第7会場(コンgresクエア中野 1F ルーム 1)

## 013 母子感染

座長 喜多恒和

(奈良県総合医療センター 産婦人科)

谷口晴記

(独立行政法人三重県立総合医療センター 産婦人科)

### 013-098 妊婦 HIV スクリーニング検査から HIV-2 の診断に到った日本人妊婦例

齊藤誠司<sup>1,2)</sup>、村上由佳<sup>2)</sup>、飯塚暁子<sup>2)</sup>、  
松井綾香<sup>2)</sup>、野村直幸<sup>2)</sup>、木梨貴博<sup>2)</sup>、  
坂田達朗<sup>2)</sup>、草川 茂<sup>3)</sup>、木内 英<sup>4)</sup>、  
前島雅美<sup>5)</sup>、渡邊 大<sup>6)</sup>

- 1) 独立行政法人国立病院機構 福山医療センター 感染症内科
- 2) 福山医療センター 広島県東部地区エイズ治療センター
- 3) 国立感染症研究所 エイズ研究センター
- 4) 国立国際医療研究センター エイズ治療研究・開発センター
- 5) 独立行政法人国立病院機構 名古屋医療センター 感染・免疫研究部
- 6) 独立行政法人国立病院機構 大阪医療センター 臨床研究センター・エイズ先端医療研究部

### 013-099 母子感染予防のための新生児への AZT 投与の現状について

下川千賀子<sup>1)</sup>、安田明子<sup>1)</sup>、南川知央<sup>1)</sup>、  
渡辺真梨奈<sup>1)</sup>、高山次代<sup>2)</sup>、浅田裕子<sup>2)</sup>、  
辻 典子<sup>3)</sup>、山田千代子<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>4)</sup>

- 1) 石川県立中央病院薬剤部
- 2) 石川県立中央病院看護部
- 3) エイズ予防財団
- 4) 石川県立中央病院免疫感染症科

### 013-100 わが国独自の HIV 母子感染予防対策ガイドラインの策定

山田里佳<sup>1,2)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>、  
定月みゆき<sup>2)</sup>、千田時弘<sup>2)</sup>、大里和広<sup>2)</sup>、  
井上孝美<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>、鳥谷部邦明<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
蓮尾泰之<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 愛知県厚生農業協同組合連合会海南病院 産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業 HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立班

### 013-101 HIV 陽性女性と出生した児の長期予後に関するコホート研究 The Japan Women and Children HIV Cohort Study (JWCICS) の試み

田中瑞恵<sup>1,4)</sup>、兼重昌夫<sup>1,4)</sup>、七野浩之<sup>1)</sup>、  
菊池 嘉<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、北島浩二<sup>3)</sup>、  
大津 洋<sup>3)</sup>、佐々木泰治<sup>3)</sup>、外川正生<sup>4)</sup>、  
細川真一<sup>4)</sup>、前田尚子<sup>4)</sup>、寺田志津子<sup>4)</sup>、  
喜多恒和<sup>4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター小児科
- 2) 国立国際医療研究センターエイズ治療・研究開発センター
- 3) 国立国際医療研究センター JCRAC データセンター
- 4) エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

### 013-102 本邦における HIV 感染妊婦の経膈的分娩受け入れ可能施設の現状について。

林 公一<sup>1)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、明城光三<sup>3)</sup>、  
五味淵秀人<sup>4)</sup>、宋 邦夫<sup>5)</sup>、中山香映<sup>6)</sup>、  
喜多恒和<sup>7)</sup>

- 1) 国立病院機構・関門医療センター・産婦人科
- 2) 国立病院機構九州医療センター
- 3) 国立病院機構・仙台医療センター
- 4) 河北病院
- 5) 久留米大学医学部
- 6) 昭和大学健康医療学部
- 7) 奈良県総合医療センター

### 013-103 妊婦 HIV スクリーニング検査実施率の推移と未妊健妊婦の HIV 母子感染リスク

吉野直人<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>1,2)</sup>、  
伊藤由子<sup>2)</sup>、杉山 徹<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
谷口晴記<sup>2)</sup>、蓮尾泰之<sup>2)</sup>、稲葉憲之<sup>2)</sup>、  
和田裕一<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 岩手医科大学医学部微生物学講座感染症学・免疫学分野
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

### 013-104 HIV 感染判明時期別にみた HIV 感染妊娠の現状

杉浦 敦<sup>1)</sup>、石橋理子<sup>1,2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、  
太田 寛<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本 薫<sup>2)</sup>、  
高野政志<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、  
箕浦茂樹<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>1,2)</sup>、  
榎本美喜子<sup>1,2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、  
吉野直人<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>1,2)</sup>

- 1) 奈良県総合医療センター
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

## 013-105 本邦における HIV 感染妊娠の経膈分娩例に関する後方視的検討

桃原祥人<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、石橋理子<sup>2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、太田 寛<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本 薫<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、中西美紗緒<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、榎本美喜子<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 東京都立大塚病院
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

## 013-106 HIV 感染妊娠における近年の動向に関する検討

中西美紗緒<sup>1,2)</sup>、杉浦 敦<sup>2)</sup>、石橋理子<sup>2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、箕浦茂樹<sup>2)</sup>、松田秀雄<sup>2)</sup>、高野政志<sup>2)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、小林裕幸<sup>2)</sup>、佐久本 薫<sup>2)</sup>、榎本美喜子<sup>2)</sup>、藤田 綾<sup>2)</sup>、高橋尚子<sup>2)</sup>、田中瑞恵<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>2)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 産婦人科
- 2) 厚生労働科学研究費補助金エイズ対策政策研究事業「HIV 感染妊娠に関する全国疫学調査と診療ガイドラインの策定ならびに診療体制の確立」班

■日時：11月25日(土) 10:10～11:50

■会場：第2会場(中野サンプラザ13Fスカイ)

## 014 アンコール+その他

座長 谷口俊文

(千葉大学医学部附属病院 感染症内科・感染制御部)

田沼順子

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター)

## 014-109 未治療男性 HIV 患者における骨密度低下の状況及び治療開始後の変化

吉野友祐、三須恵太、妹尾和憲、古賀一郎、北沢貴利、太田康男

帝京大学医学部内科学講座感染症

## 014-110 2016 年度 HIV 薬剤耐性検査外部精度評価の報告

吉田 繁<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、松田昌和<sup>2)</sup>、岡田清美<sup>3)</sup>、伊部史朗<sup>3)</sup>、和山行正<sup>3)</sup>、齋藤浩一<sup>4)</sup>、椎野禎一郎<sup>5)</sup>、加藤真吾<sup>6)</sup>、佐藤かおり<sup>7)</sup>、豊嶋崇徳<sup>8)</sup>、杉浦 互<sup>2,9)</sup>、吉村和久<sup>5)</sup>

- 1) 北海道医療大学
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 4) LSI メディエンス
- 5) 国立感染症研究所
- 6) 慶應義塾大学医学部微生物学
- 7) 北海道大学病院検査・輸血部
- 8) 北海道大学病院血液内科
- 9) グラクソ・スミスクライン株式会社

## 014-111 本院におけるエイズ受診患者への投薬の変遷と合併症の現状解析

重見博子<sup>1,2)</sup>、田居克規<sup>2,3)</sup>、伊藤和広<sup>3)</sup>、五十嵐敏明<sup>4)</sup>、今川美智子<sup>5)</sup>、鈴木仁弥<sup>5)</sup>、此下忠志<sup>5)</sup>、山内高弘<sup>3)</sup>、石塚 全<sup>1)</sup>、岩崎博道<sup>2)</sup>

- 1) 福井大学医学部呼吸器内科
- 2) 福井大学医学部感染制御部
- 3) 福井大学医学部血液・腫瘍内科
- 4) 福井大学医学部附属病院薬剤部
- 5) 福井大学医学部内分泌・代謝内科

## 014-107 初診後早期に実施したリンパ節生検組織の再精査により約 1 年後に確定診断に至った HIV 感染合併 Multicentric Castleman Disease の一例

中達 尚、寺前晃介、篠原 浩、清水恒広

京都市立病院機構京都市立病院

## 014-108 HIV 感染者における睡眠障害と心身の状態

古西 満<sup>1,3)</sup>、宇野健司<sup>2,3)</sup>、治田匡平<sup>4)</sup>、青井博志<sup>4)</sup>、川崎裕貴<sup>4)</sup>、谷口美苗<sup>5)</sup>、南村 茜<sup>5)</sup>、小川吉彦<sup>3)</sup>、小川 拓<sup>3)</sup>、笠原 敬<sup>3)</sup>、三笠桂一<sup>3)</sup>

- 1) 奈良県立医科大学健康管理センター
- 2) 南奈良総合医療センター感染症内科
- 3) 奈良県立医科大学感染症センター
- 4) 奈良県立医科大学附属病院薬剤部
- 5) 奈良県立医科大学附属病院看護部

014-112 [アンコール] Raltegravir 1200mg Once Daily (QDvs 400mg Twice Daily (BID) with Tenofovir Disoproxil Fumarate/ Emtricitabine (TDF/FTC) in Previously Untreated HIV-1 Infection

Bach-Yen Nguyen <sup>1)</sup>、Pedro Cahn <sup>2)</sup>、Richard Kaplan <sup>3)</sup>、Paul Sax <sup>4)</sup>、Kathleen Squires <sup>5)</sup>、Jean-Michel Molina <sup>6)</sup>、Winai Ratanasuwan <sup>7)</sup>、Mohammed Rassool <sup>8)</sup>、Xia Xu <sup>1)</sup>、Yan Zhou <sup>1)</sup>、Brenda Homony <sup>1)</sup>、Deborah Hepler <sup>1)</sup>、Hedy Teppler <sup>1)</sup>、George Hanna <sup>1)</sup>、and Wayne Greaves <sup>1)</sup> for the ONCEMRK Study Group

- 1) Merck & Co, Inc, Kenilworth NJ, USA
- 2) Fundación Huesped, Buenos Aires, Argentina
- 3) Desmond Tutu HIV Foundation, Cape Town, South Africa
- 4) Brigham & Women's Hospital, Harvard Medical School, Boston, MA
- 5) Thomas Jefferson University, Philadelphia, PA
- 6) University of Paris Diderot, Hôpital Saint-Louis, Paris, France
- 7) Faculty of Medicine Siriraj Hospital, Mahidol University, Bangkok, Thailand.
- 8) University of Witwatersrand, Helen Joseph Hospital, Johannesburg, South Africa

014-113 [アンコール] Efficacy and safety of switching from bPI+F/TDF to the STR of DRV/C/F/TAF in virologically-suppressed, HIV-1-infected adults through 24 weeks: EMERALD Study

Molina JM <sup>1)</sup>、Gallant J <sup>2)</sup>、Orkin C <sup>3)</sup>、Negredo E <sup>4)</sup>、Bhatt L <sup>5)</sup>、Gathe J <sup>6)</sup>、Van Landuyt E <sup>7)</sup>、Lathouwers E <sup>7)</sup>、Hufkens V <sup>7)</sup>、Vanveggel S <sup>7)</sup>、Opsomer M <sup>7)</sup>

- 1) St-Louis Hosp, Univ of Paris Diderot
- 2) Southwest CARE Center, US
- 3) Barts and Health NHS Trust, UK
- 4) Germans Trias i Pujol Univ Hosp, Spain
- 5) AIDS Healthcare Foundation, US
- 6) Therapeutic Concepts, US
- 7) Janssen Pharmaceutica

014-114 [アンコール] Phase III SWORD-1 and SWORD-2: Switch to DTG+RPV maintains virologic suppression through 48 weeks

Aboud M <sup>1)</sup>、Libre JM <sup>2)</sup>、Hung CC <sup>3)</sup>、Brinson C <sup>4)</sup>、Castelli F <sup>5)</sup>、Girard PM <sup>6)</sup>、Kahl L <sup>1)</sup>、Blair E <sup>1)</sup>、Wynne B <sup>1)</sup>、Vandermeulen K <sup>7)</sup>

- 1) ViiV Healthcare Company
- 2) University Hospital Germans Trias
- 3) National Taiwan University Hospital
- 4) Central Texas Clinical Research
- 5) ASST Spedali Civili di Brescia
- 6) Saint-Antoine Hospital
- 7) Janssen

014-115 [アンコール] SWORD-1 AND SWORD-2: SUBGROUP ANALYSIS OF 48-WEEK RESULTS BY AGE, RACE AND GENDER

Aboud M <sup>1)</sup>、Walmsley S <sup>2)</sup>、Richmond G <sup>3)</sup>、Bredeek F <sup>4)</sup>、Ramgopal M <sup>5)</sup>、Hung CC <sup>6)</sup>、Blair E <sup>1)</sup>、Kahl L <sup>1)</sup>、Underwood M <sup>1)</sup>、Angelis K <sup>7)</sup>、Vandermeulen K <sup>8)</sup>、Wynne B <sup>1)</sup>

- 1) ViiV Healthcare Company
- 2) University Health Network
- 3) Broward Health Medical Center
- 4) Metropolis Medical Group
- 5) Midway Immunology and Research Center
- 6) National Taiwan University Hospital
- 7) GlaxoSmithKline
- 8) Janssen

014-116 [アンコール] Phase 3 Randomized Controlled Trial of Switching to Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide from Abacavir/Lamivudine in Virologically Suppressed Adults: Week 48 Results

M.S. Rhee<sup>1)</sup>、A. Winston<sup>2)</sup>、  
F.A. Post<sup>3)</sup>、E. Dejesus<sup>4)</sup>、  
D. Podzamczar<sup>5)</sup>、G. Di Perri<sup>6)</sup>、  
V. Estrada<sup>7)</sup>、F. Raffi<sup>8)</sup>、P. Ruane<sup>9)</sup>、  
P. Mallon<sup>10)</sup>、F. Castelli<sup>11)</sup>、M. Yan<sup>1)</sup>、  
S. Cox<sup>1)</sup>、M. Das<sup>1)</sup>、A. Cheng<sup>1)</sup>

- 1) Gilead Sciences
- 2) Imperial College London
- 3) Kings College Hospital
- 4) Orlando Immunology Center
- 5) Hospital Universitari de Bellvitge
- 6) Compensorio Amedeo Di Savoia
- 7) Hospital Clinico San Carlos
- 8) Hotel Dieu, Nantes
- 9) Ruane Medical & Liver Health Institute
- 10) University College Dublin
- 11) University of Brescia

■日時：11月25日(土) 10:10～11:40

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 015 抗HIV療法③

座長 味澤 篤

(東京都保健医療公社豊島病院)

藤井輝久

(広島大学病院 輸血部・エイズ医療対策室)

015-117 Darunavir の市販後使用成績 – プリジスタ・プリジスタナীব使用成績調査中間集計結果より –

福島耕治<sup>1)</sup>、長谷川孝一<sup>1)</sup>、川又寛和<sup>2)</sup>、  
加藤睦子<sup>2)</sup>

- 1) ヤンセンファーマメディカルアフェアーズ本部
- 2) ヤンセンファーマドラッグ・セイフティ&サーベイランス統括部

015-118 DRV/RTV から DRV/COBI へのブラスター変更症例における臨床所見の変化

安達英輔、佐藤秀憲、菊地 正、古賀道子、  
鯉淵智彦、四柳 宏

東京大学医科学研究所附属病院感染疫内科

015-119 ダルナビル・コビシタット配合錠に変更後のダルナビル血中濃度の検討

柳澤邦雄<sup>1)</sup>、永野大輔<sup>2)</sup>、小川孔幸<sup>1)</sup>、  
真下貴子<sup>3)</sup>、合田 史<sup>4)</sup>、内海英貴<sup>5)</sup>、  
荒木拓也<sup>2,3)</sup>、山本康次郎<sup>2,3)</sup>、半田 寛<sup>1)</sup>

- 1) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学
- 3) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 4) 国立病院機構高崎医療センター 総合診療科
- 5) 医療法人社団日高会 白根クリニック

015-120 ドルテグラビル製剤(テビケイ錠、トリメク配合錠)の製造販売後調査中間報告

古賀一郎<sup>1)</sup>、長生多佳子<sup>2)</sup>、北市智美<sup>2)</sup>、  
福田明子<sup>2)</sup>、小林章弘<sup>3)</sup>、三浦聡之<sup>1)</sup>

- 1) ヴィーブヘルスケア株式会社メディカルアフェアーズ部門
- 2) ヴィーブヘルスケア株式会社安全管理部
- 3) グラクソ・スミスクライン株式会社バイオメディカルデータサイエンス部

015-121 ドルテグラビルの血中濃度とUGT1A1遺伝子多型が、ドルテグラビル投与後の神経精神系有害事象の発生に与える影響についての検討

渡邊 大<sup>1,2,3)</sup>、矢倉裕輝<sup>4)</sup>、櫛田宏幸<sup>4)</sup>、  
富島公介<sup>4)</sup>、戸上博昭<sup>5)</sup>、平野 淳<sup>5)</sup>、  
高橋昌明<sup>6)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、伊熊素子<sup>2)</sup>、  
笠井大介<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、吉野宗宏<sup>7)</sup>、  
上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>1,2,3)</sup>

- 1) 国立病院機構大阪医療センター臨床研究センターエイズ先端医療研究部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- 3) 大阪大学大学院医学系研究科エイズ先端医療学
- 4) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター薬剤部
- 6) 国立病院機構鈴鹿病院薬剤科
- 7) 国立病院機構宇多野病院薬剤部

015-122 Dolutegravir (DTG) または darunavir/ritonavir (DRV/r) の単独療法に至った4例に関する検討

立川夏夫<sup>1)</sup>、宮田順之<sup>1)</sup>、吉村 歩<sup>2)</sup>、  
須佐友美<sup>2)</sup>、宮林優子<sup>3)</sup>、寺澤美穂<sup>3)</sup>、  
松本雅美<sup>3)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>

- 1) 横浜市立市民病院感染症内科
- 2) 横浜市立市民病院薬剤部
- 3) 横浜市立市民病院看護部

## 015-123 薬物トランスポーターノックアウトラットにおけるラルテグラビルの髄液移行性についての検討

土屋亮人<sup>1)</sup>、大内麻由<sup>2)</sup>、濱田哲暢<sup>2,3)</sup>、  
菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,4)</sup>、瀧永博之<sup>1,4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター
- 2) 国立がん研究センター研究所 臨床薬理研究分野
- 3) 熊本大学大学院医学教育部 腫瘍治療・トランスレーショナルリサーチ学分野
- 4) 熊本大学エイズ学研究センター

## 015-124 腎移植 HIV 感染患者のラミブジン血中濃度及び投与量妥当性の検討

武道涼平<sup>1)</sup>、友田吉則<sup>2)</sup>、稲野 寛<sup>1)</sup>、  
和田達彦<sup>3)</sup>、吉田一成<sup>4)</sup>、厚田幸一郎<sup>1,2)</sup>

- 1) 北里大学病院薬剤部
- 2) 北里大学薬学部
- 3) 北里大学医学部 膠原病・感染内科
- 4) 北里大学医学部 新世紀医療開発センター 先端医療領域開発部門臓器移植・再生医学学

## 015-125 当院における NRTI sparing regimen の処方状況

大石裕樹<sup>1,3)</sup>、森本清香<sup>1,3)</sup>、高濱宗一郎<sup>2,3)</sup>、  
南 留美<sup>2,3)</sup>、西野 隆<sup>1,3)</sup>、山本政弘<sup>2,3)</sup>

- 1) 国立病院機構九州医療センター薬剤部
- 2) 国立病院機構九州医療センター免疫感染症科
- 3) 国立病院機構九州医療センター臨床研究センター

■日時：11月25日(土) 10:10～11:40

■会場：第4会場(中野サンプラザ 11F プロッサム)

## 016 薬物使用・PrEP

座長 徐 淑子

(新潟県立看護大学 人間環境科学領域)

水島大輔

(国立研究開発法人国立国際医療研究センター エイズ治療研究開発センター)

## 016-126 HIV 診療チームによる薬物使用者支援、薬物依存症のプライマリケア体制づくり(その1)～個々の専門性と個性を活かしたチームの必要性～

岩室紳也<sup>1)</sup>、加瀬博貴<sup>2)</sup>、岩崎弥生<sup>2)</sup>、  
西村 浩<sup>3)</sup>、福島ゆきよ<sup>4)</sup>、中村繭子<sup>4)</sup>、  
川口明子<sup>5)</sup>、岩崎春菜<sup>6)</sup>

- 1) 厚木市立病院泌尿器科
- 2) 厚木市立病院薬剤科
- 3) 厚木市立病院精神科
- 4) 厚木市立病院看護部
- 5) 厚木市立病院栄養科
- 6) 神奈川県健康危機管理課

## 016-127 HIV 診療チームによる薬物使用者支援、薬物依存症のプライマリケア体制づくり(その2)～当院における薬物使用者支援の実際～

加瀬博貴<sup>1)</sup>、岩崎弥生<sup>1)</sup>、福島ゆきよ<sup>2)</sup>、  
中村繭子<sup>2)</sup>、川口明子<sup>3)</sup>、岩崎春菜<sup>4)</sup>、  
西村 浩<sup>5)</sup>、岩室紳也<sup>6)</sup>

- 1) 厚木市立病院薬剤科
- 2) 厚木市立病院看護部
- 3) 厚木市立病院栄養科
- 4) 神奈川県健康危機管理課
- 5) 厚木市立病院精神科
- 6) 厚木市立病院泌尿器科

## 016-128 広島大学病院における薬物再乱用防止プログラム導入状況の報告

喜花伸子<sup>1)</sup>、杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、高浦睦美<sup>3)</sup>、  
松岡明子<sup>3)</sup>、山崎尚也<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>1,4)</sup>、  
藤井輝久<sup>1)</sup>、丸山栄子<sup>1,2)</sup>、宮原明美<sup>1)</sup>、  
池田有里<sup>1)</sup>、木下一枝<sup>1)</sup>、村上英子<sup>1,2)</sup>、  
高田 昇<sup>5)</sup>

- 1) 広島大学病院
- 2) エイズ予防財団
- 3) 広島県立総合精神保健福祉センター
- 4) 福山医療センター
- 5) 中電病院

## 016-129 薬物使用と性行動と精神的健康度の関連性－MSM向け出会い系アプリ利用者の意識や行動に関する調査から－

三輪岳史<sup>1)</sup>、及川千夏<sup>1)</sup>、山口正純<sup>2)</sup>、  
大槻知子<sup>1)</sup>、藤田彩子<sup>1,3)</sup>、若林子ヒロ<sup>4)</sup>、  
生島 嗣<sup>1)</sup>、樽井正義<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 2) 武南病院
- 3) 東京大学大学院
- 4) 埼玉県立大学

## 016-130 MSM の薬物使用及び HIV 感染と児童期の逆境体験との関連

野坂祐子<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>1)</sup>、  
樽井正義<sup>1)</sup>、山口正純<sup>3)</sup>、大槻知子<sup>1)</sup>、  
藤田彩子<sup>1,4)</sup>、及川千夏<sup>1)</sup>、大島 岳<sup>1)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- 2) 大阪大学大学院
- 3) 武南病院
- 4) 東京大学大学院

016-131 わが国の MSM における PrEP および nPEP の認知度、利用経験、利用意向に関する分析 — ゲイ向け GPS アプリ利用者の意識や行動に関する LASH 調査から —

山口正純<sup>1)</sup>、三輪岳史<sup>2)</sup>、及川千夏<sup>2)</sup>、藤田彩子<sup>2,3)</sup>、大槻知子<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、樽井正義<sup>2)</sup>

1) 武南病院  
2) 特定非営利活動法人 ふれいす東京  
3) 東京大学大学院

016-132 Multiplex referral and affiliation networks in relation to uptake of Pre-exposure prophylaxis among HIV-negative young men who have sex with men

藤本加代<sup>1)</sup>、Wang Peng<sup>2)</sup>、Kuhns Lisa<sup>3)</sup>、SchneiderJohn<sup>4)</sup>

1) University of Texas Health Science Center at Houston  
2) Swinburne Institute of Technology, Australia  
3) Lurie Children's Hospital of Chicago  
4) University of Chicago

016-133 Pre-exposure prophylaxis の費用対効果に関する文献レビュー

梶本裕介<sup>1)</sup>、北島 勉<sup>4)</sup>、沢田貴志<sup>2)</sup>、宮首弘子<sup>3)</sup>

1) 神奈川県立産業技術総合研究所  
2) 港町診療所  
3) 杏林大学外国語学部  
4) 杏林大学総合政策学部

■日時：11月25日(土) 10:10～11:40

■会場：第5会場(中野サンプラザ 11 F アネモ)

## 017 感染増殖機構

座長 佐藤賢文

(熊本大学大学院先導機構 エイズ学研究センター 佐藤研究室)

野間口雅子

(徳島大学大学院 医歯薬学研究部)

017-134 HIV-1 Capsid 蛋白質不安定性の脱殻 / ウイルス複製における意義

天野将之<sup>1)</sup>、趙 睿<sup>1)</sup>、中村朋文<sup>1)</sup>、中田浩智<sup>1)</sup>、宮川寿一<sup>1)</sup>、田宮貞宏<sup>1)</sup>、松岡雅雄<sup>1)</sup>、満屋裕明<sup>1,2)</sup>

1) 熊本大学医学部 血液・膠原病・感染症内科  
2) 国立国際医療研究センター研究所

017-135 HIV-2 Vpx のポリプロリンモチーフの役割

島垣和功<sup>1)</sup>、古賀涼子<sup>1)</sup>、Halil IbrahimCiftci<sup>1)</sup>、大塚雅巳<sup>1)</sup>、山口佳宏<sup>2)</sup>、藤田美歌子<sup>3)</sup>

1) 熊本大学大学院薬学教育部生体機能分子合成学分野  
2) 熊本大学環境安全センター  
3) 熊本大学薬学部附属創薬研究センター

017-136 Quantitative and qualitative evaluation of HIV-1 proviral DNA by ddPCR and high-throughput sequencing

M SaifullIslam<sup>1)</sup>、Miyazato Paola<sup>1)</sup>、Seki Yohei<sup>2)</sup>、TanBenjy Jek Yang<sup>1)</sup>、Iwase Saori<sup>1)</sup>、Akari Hirofumi<sup>2,3)</sup>、Satou Yorifumi<sup>1)</sup>

1) Center for AIDS Research, Kumamoto University  
2) Primate Research Institute, Kyoto University  
3) Institute for Frontier Life and Medical Sciences, Kyoto University

017-137 HIV-1 潜伏感染モデル細胞を用いた再活性化誘導機序の解析

志村和也<sup>1)</sup>、松岡雅雄<sup>1,2)</sup>

1) 京都大学 ウイルス・再生医学研究所  
2) 熊本大学大学院生命科学研究部 血液・膠原病・感染症内科学

017-138 HIV サブタイプ比較によるゲノムパッケージングに関する解析

櫻木淳一、櫻木小百合、塩田達雄

大阪大学微生物病研究所 ウイルス感染制御分野

017-139 宿主膜タンパク質 MARCH ファミリーメンバーの抗ウイルス活性の解析

Yao Weitong<sup>1,2)</sup>、多田卓哉<sup>1)</sup>、張 延昭<sup>1,2)</sup>、田中道子<sup>1)</sup>、山岡昇司<sup>2)</sup>、藤田英明<sup>3)</sup>、徳永研三<sup>1)</sup>

1) 国立感染症研究所 感染病理部  
2) 東京医科歯科大学 ウイルス制御学分野  
3) 長崎国際大学 薬学部 機能形態学

017-140 HIV-1 の祖先ウイルスが発現する Vpu タンパク質の機能における種特異性とそのメカニズム

Hashimoto Saki、Yoshida Takeshi、Takeuchi Hiroaki、Yamaoka Shoji

Department of Molecular Virology, Tokyo Medical and Dental University (TMDU)

- 017-141 Structural Basis of HIV-1 Gag Matrix Targeting by IP<sub>6</sub> Derivative  
Halil ICiftci<sup>1)</sup>、Tateishi Hiroshi<sup>1)</sup>、Koiwai Kotaro<sup>2)</sup>、Koga Ryoko<sup>1)</sup>、Otsuka Masami<sup>1)</sup>、Fujita Mikako<sup>3)</sup>、Yumoto Fumiaki<sup>2)</sup>、Senda Toshiya<sup>2)</sup>  
1) Faculty of Life Science, Kumamoto University  
2) Structural Biology Research Center, KEK  
3) School of Pharmacy, Kumamoto University

- 018-145 外部機関との連携による HIV 陽性者就労支援  
蔵田 裕、田邊嘉也、川口 玲、古谷野淳子、中川雄真、茂呂 寛  
新潟大学医歯学総合病院感染管理部  
018-146 刑事事件等による身柄拘束者および受刑者に対するソーシャルサポートの一考察  
生島 嗣、村崎美和、牧原信也  
特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：11月25日(土) 14:30～16:00

■会場：第2会場(中野サンプラザ13F スカイ)

## 018 陽性者支援

座長 井上洋士

(放送大学、株式会社アクセライト、調査研究コンサルティング事業部)

上平朝子

(国立病院機構大阪医療センター 感染症内科)

- 018-147 離島で HIV 陽性者支援を開始して3年間の報告  
東江 忍<sup>1)</sup>、杉田周一<sup>2)</sup>、李 瑛<sup>2)</sup>、吉田益奈子<sup>3)</sup>、佐藤聡美<sup>4)</sup>、砂川礼子<sup>1)</sup>、饒平名 学<sup>5)</sup>  
1) 沖縄県立宮古病院 外来/ER  
2) 沖縄県立宮古病院 医局  
3) 沖縄県立宮古病院 薬局  
4) 沖縄県立宮古病院 地域連携室  
5) 沖縄県立宮古病院 医療安全管理室

- 018-142 HIV 陽性の相談員による、陽性者等向け電話相談サービスに関する考察  
佐藤郁夫、折茂 淳、牧原信也、福原寿弥、池上千寿子、生島 嗣  
特定非営利活動法人ぶれいす東京

- 018-148 HIV 陽性者の生活と法的課題 —「LGBT 支援法律家ネットワーク」有志の視座から  
大畑泰次郎<sup>1)</sup>、加藤慶二<sup>4)</sup>、中川重徳<sup>2)</sup>、永野 靖<sup>2)</sup>、前園進也<sup>3)</sup>、山下敏雅<sup>2)</sup>  
1) 大阪弁護士会  
2) 東京弁護士会  
3) 埼玉弁護士会  
4) 第二東京弁護士会

- 018-143 大阪における新規 HIV 陽性者グループ支援の実践と課題 ～ひよっこクラブの取り組みから～  
白野倫徳、野坂祐子、大野まどか、柏木瑛信、松浦基夫、大田黒尚子、青木理恵子  
特定非営利活動法人 CHARM

- 018-149 新宿区 HIV/AIDS 関係機関ネットワーク連絡会の活動報告  
三宅 慧<sup>1)</sup>、神楽岡 澄<sup>1)</sup>、鈴木裕子<sup>1)</sup>、山中 晃<sup>2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、池田和子<sup>4)</sup>、佐藤知恵<sup>5)</sup>、藤平輝明<sup>6)</sup>、荒木順子<sup>7)</sup>、カエバタ亜矢<sup>1)</sup>  
1) 新宿区保健所保健予防課  
2) 新宿東口クリニック  
3) 特定非営利活動法人 ぶれいす東京  
4) 国立国際医療研究センター病院 エイズ治療・研究開発センター  
5) 東京医科大学病院 臨床検査医学科  
6) 東京医科大学病院 総合相談支援センター  
7) 特定非営利活動法人 akta

- 018-144 HIV 感染者/エイズ患者の抗 HIV 療法導入時の福祉制度適用の現状  
羽柴知恵子<sup>1,2)</sup>、浅海里帆<sup>3)</sup>、三輪紀子<sup>1)</sup>、水谷美枝子<sup>1)</sup>、伊藤杏奈<sup>1)</sup>、小暮あゆみ<sup>4)</sup>、中畑征史<sup>4)</sup>、蜂谷敦子<sup>5)</sup>、岩谷靖雅<sup>5)</sup>、今村淳治<sup>2)</sup>、横幕能行<sup>2)</sup>  
1) NHO 名古屋医療センター看護部  
2) NHO 名古屋医療センターエイズ治療開発センター  
3) NHO 名古屋医療センター相談支援センター  
4) NHO 名古屋医療センター感染症内科  
5) NHO 名古屋医療センター 感染・免疫研究部

- 018-150 HIV 陽性者の当事者研究に向けて — 当事者として共に在ること / 語り継ぐことの社会学2  
大島 岳<sup>1,2)</sup>  
1) 一橋大学大学院  
2) 日本学術振興会

■日時：11月25日(土) 14:30～16:00

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 019 日和見感染

座長 照屋勝治

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

四本美保子

(東京医科大学病院 臨床検査医学科)

019-151 Sulfamethoxazole-Trimethoprim (ST 合剤) の脱感作により治療を継続できたトキソプラズマ脳炎 (TE) の一例

宮田順之<sup>1)</sup>、吉村幸浩<sup>1)</sup>、彦坂健児<sup>2)</sup>、野呂瀬一美<sup>2)</sup>、立川夏夫<sup>1)</sup>

1) 横浜市立市民病院  
2) 千葉大学大学院医学研究院 感染生体防御学

019-152 神経症状を伴わない中枢神経病変を認めた HIV 感染者の 1 例

宮下竜伊<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、一木昭人<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、城川泰司郎<sup>1)</sup>、備後真登<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、萩原 剛<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1,2)</sup>、福武勝幸<sup>1,2)</sup>

1) 東京医科大学臨床検査医学科  
2) 東京医科大学血液凝固異常症遺伝子研究寄付講座

019-153 マルネッフェイ型ペニシリウム症発症エイズの 1 例

今村淳治<sup>1)</sup>、小暮あゆみ<sup>1)</sup>、中畑征史<sup>1)</sup>、亀井克彦<sup>2)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>

1) 独立行政法人 国立病院機構 名古屋医療センター 感染症内科  
2) 千葉大学真菌医学研究センター 臨床感染症分野

019-154 HIV 感染者におけるニューモシスチス肺炎と肺結核の重複感染例の検討

柳川泰昭<sup>1,2)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、上村 悠<sup>1,2)</sup>、水島大輔<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、木内 英<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1,2)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1,2)</sup>

1) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院 エイズ治療研究開発センター  
2) 熊本大学医学部大学院エイズ学研究センター

019-155 ニューモシスチス肺炎に対するペンタミジン点滴静注治療の副作用の検討

工藤由佳<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) 都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科  
3) 東京都保健医療公社豊島病院

019-156 HIV 合併結核患者における CD4 陽性リンパ球数と病型についての検討

松原昌平<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、味澤 篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科  
3) 東京都保健医療公社豊島病院

019-157 HIV 感染者におけるサイトメガロウイルス消化管病変に対する CMV 抗原血症検査 (C7-HRP) の有用性

池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、藤原 崇<sup>3)</sup>、味澤 篤<sup>1,4)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科  
3) がん・感染症センター都立駒込病院 消化器内科  
4) 東京都保健医療公社豊島病院

019-158 当院におけるヒトヘルペスウイルス 8 型関連疾患の現状

山本雄大、渡邊 大、湯川理己、来住知美、廣田和之、伊熊素子、上地隆史、西田恭治、上平朝子、白阪琢磨

国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

019-159 当センターにおける肺カポジ肉腫症例の後方視的検討

青木孝弘、上村 悠、柳川泰昭、水島大輔、木内 英、渡辺恒二、田沼順子、塚田訓久、照屋勝治、瀧永博之、菊池 嘉、岡 慎一

国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

■日時：11月25日(土) 17:10～18:40

■会場：第3会場(中野サンプラザ 14F クレセント)

## 020 耐性・症例

座長 菊池 嘉

(国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター)

藤井輝久

(広島大学病院 輸血部・エイズ医療対策室)

### 020-160 国内新規 HIV/AIDS 診断症例における薬剤耐性 HIV-1 の動向

岡崎玲子<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>3)</sup>、長島真美<sup>4)</sup>、貞升健志<sup>4)</sup>、近藤真規子<sup>5)</sup>、南 留美<sup>6)</sup>、吉田 繁<sup>19)</sup>、小島洋子<sup>8)</sup>、森 治代<sup>8)</sup>、内田和江<sup>9)</sup>、椎野禎一郎<sup>10)</sup>、加藤真吾<sup>11)</sup>、豊嶋崇徳<sup>7)</sup>、佐々木 悟<sup>12)</sup>、伊藤俊広<sup>12)</sup>、猪狩英俊<sup>13)</sup>、寒川 整<sup>14)</sup>、石ヶ坪良明<sup>14)</sup>、太田康男<sup>15)</sup>、山元泰之<sup>16)</sup>、古賀道子<sup>17)</sup>、林田庸総<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、濱野章子<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>18)</sup>、藤井輝久<sup>20)</sup>、高田清式<sup>21)</sup>、山本政弘<sup>6)</sup>、松下修三<sup>22)</sup>、藤田次郎<sup>23)</sup>、健山正男<sup>23)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,24)</sup>、吉村和久<sup>10)</sup>

- 1) (独) 名古屋医療センター
- 2) 国立国際医療研究センター
- 3) (独) 大阪医療センター
- 4) 東京都健康安全研究センター
- 5) 神奈川県衛生研究所
- 6) (独) 九州医療センター
- 7) 北海道大学
- 8) 大阪健康安全基盤研究所
- 9) 埼玉県衛生研究所
- 10) 国立感染症研究所
- 11) 慶應義塾大学
- 12) (独) 仙台医療センター
- 13) 千葉大学
- 14) 横浜市立大学
- 15) 帝京大学
- 16) 東京医科大学
- 17) 東京大学医科学研究所
- 18) 石川県立中央病院
- 19) 北海道医療大学
- 20) 広島大学
- 21) 愛媛大学
- 22) 熊本大学
- 23) 琉球大学
- 24) 名古屋大学大学院医学系研究科

### 020-161 ドルテグラビル耐性変異 R263K と 3TC/FTC 耐性変異 M184V を獲得した症例の臨床アウトカム

四本美保子<sup>1)</sup>、萩原 剛<sup>1)</sup>、山元泰之<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>2)</sup>、重 見麗<sup>2)</sup>、鈴木隆史<sup>3)</sup>、宮下竜伊<sup>1)</sup>、上久保淑子<sup>1)</sup>、一木昭人<sup>1)</sup>、城川泰司郎<sup>1)</sup>、近澤悠志<sup>1)</sup>、備後真登<sup>1)</sup>、関谷綾子<sup>1)</sup>、村松 崇<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>1)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>

- 1) 東京医科大学病院臨床検査医学科
- 2) 独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
- 3) 荻窪病院血液科

### 020-162 HIV-2 感染症例における薬剤耐性変異の解析

前島雅美<sup>1)</sup>、伊部史朗<sup>1,2)</sup>、今橋真弓<sup>1,3)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、松田昌和<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、岡崎玲子<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1,4)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,5)</sup>

- 1) 名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 2) 北里大塚バイオメディカルアッセイ研究所
- 3) テキサス大学ヒューストンヘルスサイエンスセンター 公衆衛生大学院
- 4) 名古屋医療センター 臨床研究センター 生体情報解析室
- 5) 名古屋大学大学院医学系研究科

### 020-163 ゲンボイセ配合錠 (GEN; EVG/COBI/FTC/TAF) 投与時の耐性発現症例の検討

田沼順子<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>、児玉栄一<sup>2)</sup>、中本泰充<sup>3)</sup>、池田篤史<sup>3)</sup>、小倉直樹<sup>3)</sup>、ME Abram<sup>4)</sup>、NA Margot<sup>4)</sup>、S Cox<sup>4)</sup>、C Callebaut<sup>4)</sup>、M Das<sup>4)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 東北大学 災害科学国際研究所
- 3) 日本たばこ産業株式会社
- 4) Gilead Sciences Inc

### 020-164 cART により改善した HIV 関連脊髄症の一例

生駒良和<sup>1)</sup>、加藤寛子<sup>2)</sup>、松岡梨恵<sup>2)</sup>、石原正志<sup>2)</sup>、北川順一<sup>1)</sup>、鶴見 寿<sup>1)</sup>

- 1) 岐阜大学医学部附属病院 血液内科
- 2) 岐阜大学医学部附属病院 薬剤部

## 020-165 ART 施行により血清 RPR・TPHA 異常高値と抗カルジオリピン抗体高値が改善した 1 例

末盛浩一郎<sup>1)</sup>、中尾 綾<sup>1)</sup>、若松 綾<sup>2)</sup>、  
武田怜子<sup>2)</sup>、芝田佳香<sup>2)</sup>、古川泰弘<sup>3)</sup>、  
小野恵子<sup>3)</sup>、乗松真大<sup>4)</sup>、木村博史<sup>4)</sup>、  
山岡多恵<sup>2)</sup>、井門敬子<sup>4)</sup>、高田清式<sup>5)</sup>、  
安川正貴<sup>1)</sup>

- 1) 愛媛大学医学部附属病院 第一内科
- 2) 看護部
- 3) 総合診療サポートセンター
- 4) 薬剤部
- 5) 総合臨床研修センター

## 020-166 cART 未導入、HIV 感染血友病患者における透析導入の一例

兼久 梢、健山正男、喜友名 朋、新里 彰、  
新垣若子、鍋谷大二郎、原永修作、屋良さとみ、  
藤田次郎

- 琉球大学大学院 感染症・呼吸器・消化器内科学講座 (第一内科)

## 020-167 感染症コンサルテーションとしての HIV/AIDS 診療の実際

八板謙一郎<sup>1)</sup>、石橋幹雄<sup>2)</sup>、富永正樹<sup>3)</sup>

- 1) 久留米大学病院感染制御部
- 2) 久留米大学病院薬剤部
- 3) 久留米大学病院呼吸器・膠原病・神経内科

■日時：11月25日(土) 17:10～18:10

■会場：第4会場(中野サンプラザ 11F プロッサム)

### 021 教育・情報

座長 岩室紳也

(厚木市立病院 泌尿器科)

高田 昇

(中国電力株式会社中電病院 臨床検査科)

## 021-168 エイズのメーリングリスト“J-AIDS”最近 10 年の記事から

高田 昇

中国電力株式会社中電病院 臨床検査科

## 021-169 広がる AIDS 文化フォーラム — それぞれの地域の特徴と役割 —

山田雅子<sup>1)</sup>、岩室紳也<sup>2,3,10)</sup>、大野聖子<sup>4,5)</sup>、  
林 滋<sup>5,6)</sup>、武富弥栄子<sup>7,9)</sup>、古川潤哉<sup>8,9)</sup>

- 1) 早稲田速記医療福祉専門学校看護科
- 2) AIDS 文化フォーラム IN 横浜運営委員会
- 3) ヘルスプロモーション推進センター オフィスイワむろ
- 4) 京都第一赤十字病院 感染制御部
- 5) AIDS 文化フォーラム IN 京都運営委員会
- 6) 立命館大学薬学部
- 7) 佐賀大学保健管理センター
- 8) 佐賀浄土真宗本願寺派
- 9) AIDS 文化フォーラム IN 佐賀運営委員会
- 10) AIDS 文化フォーラム IN 陸前高田運営委員会

## 021-170 当院の HIV 研修から見る知識習得状況と今後の課題

梶川智弘、中川雅貴、石川清仁

藤田保健衛生大学病院 感染対策室

## 021-171 大学生への講義前後のアンケート調査により判明した HIV・エイズ啓発教育の効果の検討

浅井千絵<sup>1)</sup>、安井典子<sup>2)</sup>、櫻井理恵<sup>1)</sup>、  
真木景子<sup>1)</sup>、青木理恵<sup>1)</sup>、浦林純江<sup>1)</sup>、  
植田英也<sup>1)</sup>、津田侑子<sup>1)</sup>、岡田めぐみ<sup>1)</sup>、  
小向 潤<sup>1)</sup>、田中成一<sup>1)</sup>、廣川秀徹<sup>1)</sup>、  
半羽宏之<sup>1)</sup>、松本健二<sup>1)</sup>、吉田英樹<sup>1)</sup>

- 1) 大阪市保健所
- 2) 北区保健福祉センター

## 021-172 介護保険施設における感染症予防研修：全職員への出前講座企画

泉 抽岐<sup>1)</sup>、佐保美奈子<sup>2)</sup>、西口初江<sup>3)</sup>、  
豊島裕子<sup>4)</sup>、井田真由美<sup>5)</sup>、井内公仁子<sup>6)</sup>、  
熊谷祐子<sup>7)</sup>、岡本友子<sup>8)</sup>、白阪琢磨<sup>9)</sup>

- 1) 大阪信愛女学院短期大学看護学科
- 2) 大阪府立大学大学院看護学研究科
- 3) 羽衣国際大学人間生活学部
- 4) 大阪市立総合医療センター
- 5) 堺市立総合医療センター
- 6) まごころケアマネージャー事務所
- 7) みのやま病院
- 8) ハンイ産婦人科
- 9) 国立大阪医療センター

021-173 歯科衛生士学生への HIV 診療チームによる HIV/AIDS 啓発教育の効果 — HIV/AIDS に関する講義の聴講前後の調査を通して —

飯塚暁子<sup>1)</sup>、藤原千尋<sup>1)</sup>、村上由佳<sup>1)</sup>、  
門田悦子<sup>1)</sup>、松井綾香<sup>1)</sup>、野村直幸<sup>1)</sup>、  
木梨貴博<sup>1)</sup>、齋藤誠司<sup>1)</sup>、坂田達朗<sup>1)</sup>、  
和田秀穂<sup>2)</sup>

1) 国立病院機構 福山医療センター エイズ治療センター  
2) 川崎医科大学 血液内科学

■日時：11月25日(土) 17:10～18:40

■会場：第7会場(コンgresクエア中野1F ルーム1)

## 022 行動科学・意識調査

座長 塩野徳史

(大阪青山大学 健康科学部 看護学科)

戸ヶ里泰典

(放送大学 教養学部)

022-174 LASH (Love life And Sexual Health) 調査における自己評価関連項目とコンドーム使用状況との関連について

仲倉高広<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、井上洋士<sup>3)</sup>、  
及川千夏<sup>2)</sup>、大島 岳<sup>4)</sup>、大槻知子<sup>2)</sup>、  
野坂祐子<sup>5)</sup>、林 神奈<sup>6)</sup>、藤田彩子<sup>2,7)</sup>、  
三輪岳史<sup>2)</sup>、山口正純<sup>8)</sup>、若林チヒロ<sup>9)</sup>、  
樽井正義<sup>2)</sup>

1) 京都大学大学院教育学研究科  
2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京  
3) 放送大学  
4) 一橋大学大学院  
5) 大阪大学大学院  
6) サイモンフレイザー大学  
7) 東京大学大学院  
8) 武南病院  
9) 埼玉県立大学

022-175 MSM における検査行動に関する尺度開発とコミュニティセンター dista 利用者の変化

塩野徳史<sup>1,2)</sup>、後藤大輔<sup>2)</sup>、町 登志雄<sup>2,3)</sup>、  
宮田りりい<sup>2)</sup>

1) 大阪青山大学健康科学部看護学科  
2) MASH 大阪  
3) 公益財団法人エイズ予防財団

022-176 HIV Futures Japan プロジェクトにおける 5 年間の当事者参加型リサーチ (PR) の様相に関する研究者側から見た考察

井上洋士<sup>1,2)</sup>、戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、板垣貴志<sup>2)</sup>、  
阿部桜子<sup>3)</sup>、細川陸也<sup>4)</sup>、若林チヒロ<sup>5)</sup>、  
山内麻江<sup>6)</sup>、大木幸子<sup>7)</sup>、片倉直子<sup>8)</sup>、  
大島 岳<sup>9,10)</sup>、矢島 嵩<sup>11)</sup>、高久陽介<sup>11)</sup>

1) 放送大学  
2) (株) アクセライト  
3) TIS (株)  
4) 名古屋市立大学  
5) 埼玉県立大学  
6) 了徳寺大学  
7) 杏林大学  
8) 神戸市看護大学  
9) 日本学術振興会  
10) 一橋大学大学院  
11) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス

022-177 HIV Futures Japan プロジェクトにおける当事者の参画の意義と現在の課題

大島 岳<sup>1,2)</sup>、矢島 嵩<sup>3)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、  
井上洋士<sup>4,5)</sup>

1) 一橋大学大学院社会学研究科  
2) 日本学術振興会  
3) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス  
4) 放送大学  
5) 株式会社アクセライト

022-178 ゲイ向け GPS アプリを利用するトランスジェンダー等の調査

大槻知子、生島 嗣、三輪岳史、及川千夏、  
樽井正義

特定非営利活動法人ぶれいす東京

022-179 HIV 母子感染およびスクリーニング検査偽陽性に関する妊婦の意識調査

石橋理子<sup>1)</sup>、桃原祥人<sup>2)</sup>、市田宏司<sup>2)</sup>、  
多田和美<sup>2)</sup>、吉野直人<sup>2)</sup>、杉浦 敦<sup>1,2)</sup>、  
田中瑞恵<sup>2)</sup>、外川正生<sup>2)</sup>、谷口晴記<sup>2)</sup>、  
蓮尾泰之<sup>2)</sup>、塚原優己<sup>2)</sup>、戸谷良造<sup>2)</sup>、  
稲葉憲之<sup>2)</sup>、和田裕一<sup>2)</sup>、喜多恒和<sup>1,2)</sup>

1) 奈良県総合医療センター  
2) 厚労省科研費エイズ対策政策研究事業 HIV 感染妊娠に関する研究班

022-180 禁煙外来介入に伴う抗 HIV 療法導入患者の CD4 値変動について

外島正樹<sup>1)</sup>、山沢英明<sup>2)</sup>、西田路子<sup>3)</sup>、  
高山美佳<sup>3)</sup>、鈴木洋子<sup>3)</sup>

1) 自治医大臨床感染症センター感染症科  
2) 自治医大内科学講座呼吸器内科学部門  
3) 自治医大附属病院看護部

■日時：11月25日(土) 18:10～18:40

■会場：第4会場(中野サンプラザ11Fプロッサム)

## 023 疫学

座長 岩室紳也

(ヘルスプロモーション推進センター)

高田昇

(中国電力株式会社中電病院 臨床検査科)

023-181 HIV感染症の診断契機に関する実態調査

森尚義<sup>1)</sup>、白木克哉<sup>2)</sup>、谷口晴記<sup>3)</sup>

1) 三重県立総合医療センター薬剤部

2) 三重県立総合医療センター総合内科

3) 三重県立総合医療センター産婦人科

023-182 HIV感染者における梅毒発症例の疫学的特徴

河内宣之<sup>1)</sup>、笠松亜由<sup>1)</sup>、工藤由佳<sup>1)</sup>、  
鄭瑞雄<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、  
田中勝<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、  
味澤篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科

2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科

3) 東京都保健医療公社豊島病院

023-183 当院症例の診断過程から推測される、入院時スクリーニング検査の意義

坂部茂俊<sup>1)</sup>、豊嶋弘一<sup>1)</sup>、小倉香里<sup>2)</sup>、  
森尾志保<sup>2)</sup>、服部公紀<sup>3)</sup>

1) 伊勢赤十字病院 感染症内科

2) 伊勢赤十字病院看護部

3) 伊勢赤十字病院薬剤部

■日時：11月26日(日) 8:45～10:15

■会場：第4会場(中野サンプラザ11Fプロッサム)

## 024 STI + 肝炎

座長 井戸田一朗

(しらかば診療所)

四柳宏

(東京大学医科学研究所先端医療研究センター 感染症分野)

024-184 HIV感染MSMにおける肛門淋菌およびクラミジア・トラコマティス感染症の有病率に関する研究

水島大輔、上村悠、柳川泰昭、青木孝弘、  
木内英、源河いくみ、矢崎博久、田沼順子、  
照屋勝治、瀧永博之、塚田訓久、菊池嘉、  
岡慎一

国立国際医療研究センター

024-185 HIV非感染MSMコホートにおけるHIV、梅毒、肛門淋菌およびクラミジア・トラコマティス感染症の罹患率に関する検討

水島大輔、上村悠、柳川泰昭、青木孝弘、  
高野操、菊池嘉、岡慎一

国立国際医療研究センター

024-186 HIV患者における梅毒感染既往に関する全国調査

福島一彰<sup>1)</sup>、田中勝<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、味澤篤<sup>1,3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科

2) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科

3) 東京都保健医療公社豊島病院

024-187 HIV感染者におけるC型急性肝炎の検討

佐藤秀憲、安達英輔、菊地正、古賀道子、  
鯉淵智彦、堤武也、四柳宏

東京大学医科学研究所 附属病院 感染免疫内科

024-188 HIV合併を含む血友病患者におけるC型慢性肝炎のDAA治療において保険適用外となるHCVジェノタイプに対する治療の試み

萩原剛<sup>1)</sup>、四柳宏<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>3)</sup>、  
遠藤知之<sup>4)</sup>、長尾梓<sup>5)</sup>、三田英治<sup>6)</sup>、  
横幕能行<sup>7)</sup>、伊藤俊広<sup>8)</sup>、浮田雅人<sup>9)</sup>、  
渡邊珠代<sup>10)</sup>、四本美保子<sup>1)</sup>、鈴木隆史<sup>5)</sup>、  
天野景裕<sup>1)</sup>、福武勝幸<sup>1)</sup>

1) 東京医科大学臨床検査医学分野

2) 東京大学医科学研究所感染症分野

3) 広島大学病院輸血部

4) 北海道大学病院血液内科

5) 荻窪病院血液凝固科

6) 大阪医療センター総合診療部消化器内科

7) 名古屋医療センターエイズ総合診療部

8) 仙台医療センター感染症内科

9) 高山赤十字病院内科

10) 石川県立中央病院免疫感染症科

024-189 HCV/HIV-1重複感染血友病患者におけるDAA治療後の腫瘍マーカーと肝線維化マーカーの推移

上村悠<sup>1)</sup>、塚田訓久<sup>1)</sup>、柳川泰昭<sup>1,2)</sup>、  
水島大輔<sup>1)</sup>、青木孝弘<sup>1)</sup>、渡辺恒二<sup>1)</sup>、  
木内英<sup>1)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、照屋勝治<sup>1)</sup>、  
瀧永博之<sup>1,2)</sup>、菊池嘉<sup>1)</sup>、岡慎一<sup>1,2)</sup>

1) 国立国際医療研究センターエイズ・治療研究開発センター

2) 熊本大学エイズ学研究センター

## 024-190 日本国内の HIV/HCV 重複感染者における HCV の分子疫学的研究

石田裕樹<sup>1,2)</sup>、上村 悠<sup>1)</sup>、林田庸総<sup>1)</sup>、土屋亮人<sup>1)</sup>、菊池 嘉<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>

- 1) 国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター
- 2) 公益財団法人エイズ予防財団

## 024-191 HIV 感染血液凝固異常症の C 型肝炎に対する治療の現状：2016 年度の調査より

立浪 忍<sup>1)</sup>、天野景裕<sup>2)</sup>、白幡 聡<sup>3)</sup>、大平勝美<sup>4)</sup>、花井十伍<sup>5)</sup>、杉山真一<sup>6)</sup>、桑原理恵<sup>7)</sup>、秋田美恵子<sup>8)</sup>、瀧 正志<sup>9)</sup>

- 1) 聖マリアンナ医科大学 医学情報学
- 2) 東京医大臨床検査医学
- 3) 北九州八幡東病院
- 4) はばたき福祉事業団
- 5) ネットワーク医療と人権
- 6) 原後綜合法律事務所
- 7) 聖マリアンナ医大臨床研究データセンター
- 8) 聖マリアンナ医大小児科
- 9) 聖マリアンナ医大横浜市西部病院小児科

## 024-192 当院の HIV 感染者における HBV 感染と occult HBV infection

加勢田富士子、村田昌之、高山耕治、豊田一弘、小川栄一、古庄憲浩

九州大学病院 総合診療科

■日時：11月26日(日) 8:45～10:00

■会場：第5会場(中野サンプラザ 11F アネモ)

### 025 分子疫学

座長 貞升健志

(東京都健康安全研究センター 微生物部)

椎野禎一郎

(国立感染症研究所 感染症疫学センター)

## 025-193 東海地方における HIV-1 感染クラスターに関する分子疫学的解析

松田昌和<sup>1)</sup>、蜂谷敦子<sup>1)</sup>、重見 麗<sup>1)</sup>、岡崎玲子<sup>1)</sup>、羽柴知恵子<sup>1)</sup>、高宮みさき<sup>2)</sup>、鶴見 寿<sup>3)</sup>、奥村暢将<sup>4)</sup>、谷口晴記<sup>5)</sup>、椎野禎一郎<sup>6)</sup>、吉村和久<sup>6)</sup>、今村淳治<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>1)</sup>、岩谷靖雅<sup>1,7)</sup>

- 1) 名古屋医療センター
- 2) 浜松医療センター
- 3) 岐阜大学医学部附属病院
- 4) 安城更生病院
- 5) 三重県立総合医療センター
- 6) 国立感染症研究所
- 7) 名古屋大学大学院医学系研究科

## 025-194 大阪府における HIV の分子疫学解析

森 治代、小島洋子、川畑拓也

大阪健康安全基盤研究所微生物部ウイルス課

## 025-195 日本で流行する HIV-1 CRF01\_AE と周辺アジア諸国における流行株との関連

近藤真規子<sup>1,12)</sup>、佐野貴子<sup>1,12)</sup>、長島真美<sup>2,12)</sup>、貞升健志<sup>2,12)</sup>、蜂谷敦子<sup>3,12)</sup>、横幕能行<sup>3,12)</sup>、林田庸総<sup>4,12)</sup>、瀧永博之<sup>4,12)</sup>、渡邊 大<sup>5,12)</sup>、吉村幸浩<sup>6,12)</sup>、立川夏夫<sup>6,12)</sup>、岩室紳也<sup>7,12)</sup>、井戸田一朗<sup>8,12)</sup>、今井光信<sup>9,12)</sup>、加藤真吾<sup>10,12)</sup>、椎野禎一郎<sup>11,12)</sup>、吉村和久<sup>11,12)</sup>

- 1) 神奈川県衛生研究所微生物部
- 2) 東京都健康安全研究センター
- 3) (独)名古屋医療センター
- 4) 国立国際医療研究センター
- 5) (独)大阪医療センター
- 6) 横浜市立市民病院
- 7) 厚木市立病院
- 8) しらかば診療所
- 9) 田園調布学園大学
- 10) 慶應義塾大学医学部
- 11) 国立感染症研究所
- 12) HIV 薬剤耐性班グループ

## 025-196 Isolation and characterization of HIV-1 envelope glycoprotein in Japanese patients with recent diagnosis.

Thida Win、桑田岳夫、Muntasir Alam、田中和樹、AlamMohammad Mamun、清水美紀子、河波陽子、松下修三

Center for AIDS Research, School of Medical Science, Kumamoto University

## 025-197 ベトナムで分離した CRF01\_AE HIV-1 のコレセプター解析

前田洋助<sup>1)</sup>、桑田岳夫<sup>2)</sup>、寺沢広美<sup>1)</sup>、藤本りいと<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>2)</sup>、近田貴敬<sup>2)</sup>、村越勇人<sup>2)</sup>、TranGiang Van<sup>2)</sup>、門出和精<sup>1)</sup>、本田佳記<sup>1)</sup>、竹村太地郎<sup>3)</sup>、澤 智裕<sup>1)</sup>、松下修三<sup>2)</sup>、山城 哲<sup>3,4)</sup>、KinhVan Nguyen<sup>5,6)</sup>、滝口雅文<sup>2)</sup>

- 1) 熊本大学大学院生命科学研究部微生物学分野
- 2) 熊本大学エイズ学研究所
- 3) 長崎大学熱帯医学研究所ベトナム拠点
- 4) 琉球大学医学研究科細菌学講座
- 5) ベトナム国立熱帯病院
- 6) ハノイ医科大学

025-198 ベトナム人HIV-1 サブタイプA/E感染者  
コホートにおける、エイズ病態進行に関与  
するHLAアリルおよびHLA関連HIV-1  
多型のエイズ病態進行に及ぼす影響

近田貴敬<sup>1)</sup>、Van TranGiang<sup>1)</sup>、  
村越勇人<sup>1)</sup>、田村美子<sup>1)</sup>、赤星智寛<sup>1)</sup>、  
久世 望<sup>1)</sup>、阪井恵子<sup>1)</sup>、  
KinhVan Nguyen<sup>2)</sup>、滝口雅文<sup>1)</sup>

1) 熊本大学エイズ学研究センター  
2) ベトナム国立熱帯病病院, ハノイ, ベトナム

025-199 分子疫学的解析によるモンゴル国内外の  
HIV-1 伝播についての研究

林田庸総<sup>1)</sup>、金山奈緒美<sup>1)</sup>、  
Setsen Zayasaikhan<sup>2)</sup>、  
Davaalkham Jagdagsuren<sup>2)</sup>、  
土屋亮人<sup>1)</sup>、高野 操<sup>1)</sup>、瀧永博之<sup>1)</sup>、  
岡 慎一<sup>1)</sup>

1) 国立研究開発法人 国立国際医療研究センター エ  
イズ治療・研究開発センター  
2) HIV/AIDS/STI Surveillance and Research  
Department, National Center for  
Communicable Diseases, Mongolia

■日時: 11月26日(日) 8:45~10:15

■会場: 第7会場(コンgresクエア中野 1F ルーム1)

## 026 MSM

座長 金子典代

(名古屋市立大学 看護学部 国際保健看護学)

日高庸晴

(宝塚大学 看護学部)

026-200 コミュニティセンター akta を基点とす  
るアウトリーチ活動の効果評価

木南拓也<sup>1)</sup>、本間隆之<sup>2)</sup>、岩橋恒太<sup>1)</sup>、  
荒木順子<sup>1)</sup>、佐久間久弘<sup>1)</sup>、大島 岳<sup>1)</sup>、  
金子典代<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>

1) 特定非営利活動法人 akta  
2) 山梨県立大学看護学部  
3) 名古屋市立大学看護学部  
4) 人間環境大学

026-201 akta で展開したセーファーセックス  
キャンペーンとコミュニティベースド調  
査による効果評価

荒木順子<sup>1)</sup>、金子典代<sup>2)</sup>、木南拓也<sup>1)</sup>、  
岩橋恒太<sup>1)</sup>、佐久間久弘<sup>1)</sup>、阿部甚兵<sup>1)</sup>、  
大島 岳<sup>1)</sup>、太田 貴<sup>3)</sup>、石田敏彦<sup>4)</sup>、  
塩野徳史<sup>5)</sup>、新山 賢<sup>6)</sup>、金城 健<sup>7)</sup>、  
本間隆之<sup>8)</sup>、市川誠一<sup>9)</sup>

1) 特定非営利活動法人 akta  
2) 名古屋市立大学看護学部  
3) やろっこ  
4) エンジェルライフナゴヤ  
5) 大阪青山大学健康科学部看護学科  
6) HaaT えひめ  
7) 前 nankr  
8) 山梨県立大学看護学部  
9) 人間環境大学大学院看護学研究科

026-202 名古屋地区における MSM 向け臨時検査  
会の実施と成果

石田敏彦、藤浦裕二

ANGEL LIFE NAGOYA

026-203 GPS機能付き出会い系アプリを利用する  
MSM における Sexual Compulsivity  
スケール日本語版 Ver.1 の信頼性、妥当  
性の検討

井上洋士<sup>1,2)</sup>、生島 嗣<sup>3)</sup>、三輪岳史<sup>3)</sup>、  
仲倉高広<sup>4)</sup>、若林チヒロ<sup>5)</sup>、樽井正義<sup>3)</sup>

1) 放送大学  
2) 株式会社アクセライト  
3) 特定非営利活動法人ふれいす東京  
4) 京都大学大学院教育学研究科  
5) 埼玉県立大学

026-204 商業施設を利用しはじめる若年層 MSM  
を対象とした予防啓発介入の開発と効果  
評価

塩野徳史<sup>1,2)</sup>、後藤大輔<sup>2)</sup>、町 登志雄<sup>2,3)</sup>、  
宮田りりい<sup>2)</sup>、大畑泰次郎<sup>2)</sup>、伴仲昭彦<sup>2)</sup>、  
鬼塚哲郎<sup>4)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

1) 大阪青山大学健康科学部看護学科  
2) MASH 大阪  
3) 公益財団法人エイズ予防財団  
4) 京都産業大学  
5) 人間環境大学

026-205 MSMにおける性交相手との出会いの場所と方法 — 年齢層による差異について —

宮田りりい<sup>1,2)</sup>、塩野徳史<sup>1,3)</sup>、後藤大輔<sup>1,4)</sup>、町 登志雄<sup>1)</sup>、大畑泰次郎<sup>1)</sup>、市川誠一<sup>5)</sup>

- 1) MASH 大阪
- 2) 関西大学大学院文学研究科
- 3) 大阪青山大学健康科学部看護学科
- 4) 特定非営利活動法人関西エイズ対策協議会
- 5) 人間環境大学大学院看護学研究科

026-206 Perception of Network Members' HIV Status Among Young Men Who Have Sex With Men In Houston and Chicago

今橋真弓<sup>1)</sup>、Fujimoto Kayo<sup>1)</sup>、Schneider John<sup>2)</sup>

- 1) Department of Health Promotion/ Health Education, University of Texas, Health Science Center at Houston, School of Public Health
- 2) University of Chicago Department of Medicine and Public Health Sciences

026-207 MSMを対象とした献血に関する情報伝達方法および意識調査

岩橋恒太<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、藤田彩子<sup>3)</sup>、市川誠一<sup>4)</sup>、白阪琢磨<sup>5)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 akta
- 2) 特定非営利活動法人ぶれいす東京
- 3) 東京大学大学院医学系研究科
- 4) 人間環境大学看護学部
- 5) 独立行政法人国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発センター

■日時：11月26日(日) 10:15～11:45

■会場：第4会場 (中野サブプラザ11F プロッサム)

## 027 (IRIS) 免疫再構築症候群

座長 遠藤知之

(北海道大学病院 血液内科)

古西 満

(奈良県立医科大学健康管理センター)

027-208 C型肝炎治療に伴い HIV、HPV の再活性化が疑われた1例

高橋義博

大館市立総合病院 感染制御室

027-209 CD4 数 200/μL 前後で CMV 網膜炎再燃を繰り返し、前房水からガンシクロビル耐性 CMV が検出された一例

松澤幸正<sup>1)</sup>、菊地 正<sup>1)</sup>、佐藤秀憲<sup>1)</sup>、安達英輔<sup>1)</sup>、古賀道子<sup>1)</sup>、堤 武也<sup>1)</sup>、藤野雄次郎<sup>2)</sup>、鯉淵智彦<sup>1)</sup>、四柳 宏<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所附属病院 感染免疫内科
- 2) JCHO 東京新宿メディカルセンター 眼科

027-210 抗 HIV 治療後の免疫再構築症候群により症状増悪するもステロイドパルス療法が奏功し状態が安定した進行性多巣性白質脳症の1例

寺前晃介、篠原 浩、中達 尚、清水恒広  
京都市立病院

027-211 免疫再構築症候群としてバセドウ病を発症したと考えられる一例

松浦基夫<sup>1)</sup>、岡本忠司<sup>2)</sup>、西田幸司<sup>2)</sup>、草間加与<sup>2)</sup>

- 1) 堺市立総合医療センター腎代謝免疫内科
- 2) 堺市立総合医療センター呼吸器内科

027-212 HIV 感染者に緩徐進行 1 型糖尿病と橋本病を合併し多腺性自己免疫性症候群 3 型と診断した 1 例

関谷綾子<sup>1)</sup>、野本和希<sup>3)</sup>、羽田 恵<sup>3)</sup>、岡田麻里奈<sup>3)</sup>、田中 勝<sup>2)</sup>、福島一彰<sup>2)</sup>、北澤 公<sup>3)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>2)</sup>、片柳直子<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>2)</sup>

- 1) 東京医科大学臨床検査医学科
- 2) 東京都立駒込病院感染症科
- 3) 東京都立駒込病院糖尿病科

027-213 免疫再構築症候群を呈したニューモシスチス肺炎における胸部 CT 検査所見の特徴

笠松亜由<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、味澤 篤<sup>3)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院 感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院 臨床検査科
- 3) 東京都保健医療公社豊島病院

## 027-214 HIV 関連力ポジ肉腫の免疫再構築症候群に関する検討

矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、  
関谷紀貴<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>1,3)</sup>、柳澤如樹<sup>4)</sup>、  
味澤 篤<sup>5)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>

- 1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科
- 2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科
- 3) 東京医科大学臨床検査医学科
- 4) Harvard T.H.Chan School of Public Health
- 5) 東京都保健医療公社豊島病院

■日時：11月26日(日) 10:40～11:40

■会場：第2会場(中野サンプラザ13F スカイ)

### 028 歯科+ PEP/PrEP

座長 鈴木治仁

(東京 HIV デンタルネットワーク 鈴木歯科クリニック)

松本宏之

(東京医科大学歯学部附属病院 総合診療科 クリーン  
ルーム歯科外来)

## 028-215 自然な受け入れから口腔健康に対する意識向上が得られた HIV と共に生きる方の症例

加賀谷 昇<sup>1,2)</sup>、小林美生<sup>1,2)</sup>、齊藤怜子<sup>1)</sup>、  
児玉あづさ<sup>1)</sup>、植田美知子<sup>1)</sup>、八木澤健二<sup>1)</sup>、  
鈴木治仁<sup>3)</sup>

- 1) 加賀谷歯科医院(文京区)
- 2) 東京 HIV デンタルネットワーク
- 3) 鈴木歯科クリニック(品川区)

## 028-216 HIV 感染者における唾液 M-CSF と口腔微生物量の意義

泉福英信<sup>1)</sup>、有家 巧<sup>2)</sup>、丸岡 豊<sup>3)</sup>、  
富永 燦<sup>1)</sup>、宇佐美雄司<sup>4)</sup>、吉村和久<sup>5)</sup>

- 1) 国立感染症研究所細菌第一部
- 2) 国立病院機構大阪医療センター口腔外科
- 3) 国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
- 5) 国立感染症研究所エイズ研究センター

## 028-217 歯科大学・歯学部病院における HIV 感染者の受入れ状況に関する全国調査

宇佐美雄司<sup>1)</sup>、萩野浩子<sup>1)</sup>、丸岡 豊<sup>2)</sup>、  
横幕能行<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター歯科口腔外科
- 2) 国立研究開発法人国立国際医療研究センター病院歯科・口腔外科
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター感染症内科

## 028-218 HIV 感染者の歯科診療支援における歯科衛生士の活動とその支援効果

岡田美穂<sup>1)</sup>、松井加奈子<sup>1)</sup>、岩田倫幸<sup>2)</sup>、  
新谷智章<sup>3)</sup>、木下一枝<sup>4)</sup>、宮原明美<sup>4)</sup>、  
池田有里<sup>4)</sup>、齊藤誠司<sup>5,6)</sup>、丸山栄子<sup>6)</sup>、  
濱本京子<sup>6)</sup>、山崎尚也<sup>6,7)</sup>、藤井輝久<sup>6,7)</sup>、  
柴 秀樹<sup>8,9)</sup>

- 1) 広島大学病院診療支援部歯科衛生士部門
- 2) 広島大学病院歯周診療科
- 3) 広島大学病院口腔検査センター
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 福山医療センター感染症内科
- 6) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 7) 広島大学病院輸血部
- 8) 広島大学病院歯科保存診療科
- 9) 広島大学大学院歯歯薬保健学研究所歯髓生物学研究室

## 028-219 エイズ診療拠点病院における歯科衛生士の実態調査

溝部潤子<sup>1)</sup>、近藤順子<sup>2)</sup>、華房里衣<sup>3)</sup>、  
宮浦朗子<sup>4)</sup>、宇佐美雄司<sup>5)</sup>

- 1) 九州歯科大学歯学部 口腔保健学科
- 2) 国立国際医療研究センター病院 歯科・口腔外科
- 3) 国立病院機構九州医療センター 歯科口腔外科
- 4) 石川県立中央病院 歯科・歯科口腔外科
- 5) 国立病院機構名古屋医療センター 歯科口腔外科

## 028-220 当センターにおける非職業曝露後予防内服(nPEP)の施行状況(続報)

塚田訓久、田沼順子、上村 悠、柳川泰昭、  
水島大輔、西島 健、青木孝弘、木内 英、  
渡辺恒二、矢崎博久、照屋勝治、瀧永博之、  
菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター エイズ治療・研究開発センター

# 一般演題プログラム

## (一般演題) ポスター

※本号 ( ( ) 内) のページ数を掲載しております。

(一般演題) ポスター	プログラム/抄録		
ポスタービュー:	11月24日(金) 10:10~19:00		
	11月25日(土) 10:10~19:00		
ポスターディスカッション:	奇数番号: 11月24日(金) 16:10~17:00		
	偶数番号: 11月25日(土) 16:10~17:00		
臨床.....	P-001 ~ P-053	P.75	P.277
社会.....	P-054 ~ P-076	P.80	P.303
基礎.....	P-077 ~ P-085	P.82	P.315

■会場：コンgresクエア中野 1階  
ポスター会場

■ポスター貼付・自由閲覧

11月24日(金) 10:10～19:00

11月25日(土) 10:10～19:00

■発表

奇数番号：11月24日(金) 16:10～17:00

偶数番号：11月25日(土) 16:10～17:00

■ポスター撤去

11月25日(土) 17:00～18:00

## 臨床

- P-001 HIV/AIDS 看護学会の活動にみる HIV 看護の変遷と課題  
小田原未知子<sup>1)</sup>、有馬美奈<sup>2)</sup>、大野稔子<sup>3)</sup>、岡野江美<sup>4)</sup>、竹林早苗<sup>5)</sup>  
1) HIV/AIDS 看護学会  
2) がん・感染症センター都立駒込病院  
3) 北海道大学病院  
4) 東京女子医科大学附属病院  
5) 横浜市立大学附属病院
- P-002 HIV/AIDS に関する知識習得に向けた情報発信の効果  
東 政美、中本弘香、増田雅子、伊藤文代  
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
- P-003 単施設受診中断患者の後方視的調査  
高山次代<sup>1)</sup>、浅田裕子<sup>1)</sup>、齋藤千鶴<sup>2)</sup>、小谷岳春<sup>2)</sup>、渡邊珠代<sup>3)</sup>  
1) 石川県立中央病院看護部  
2) 石川県立中央病院血液内科  
3) 石川県立中央病院免疫感染症科
- P-004 性行為関連合併症で外科入院した HIV 感染者の看護にコーディネーターナースが関わる意義 — 外来・病棟間の連携に着目して —  
福田あかり、小林路世  
東京大学医科学研究所附属病院
- P-005 播種性クリプトコッカス症で死亡したエイズの一剖検例  
四宮沙理<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>1)</sup>、飯田 康<sup>2)</sup>、森村 歩<sup>1)</sup>、笠松 悠<sup>1)</sup>、後藤哲志<sup>1)</sup>  
1) 大阪市立総合医療センター感染症内科  
2) 生駒市立病院
- P-006 半年間に呼吸不全を繰り返し診断治療に苦慮した AIDS 症例  
廣瀬友城、下田 学、諸井文子、中野滋文、堀場昌英  
独立行政法人国立病院機構東埼玉病院
- P-007 抗 HIV 療法開始後に急速に進行した髄液 JCV 陰性進行性多巣性白質脳症の一例  
齋藤和義<sup>1,2)</sup>、永安 敦<sup>1,2)</sup>、名和田雅夫<sup>1,2)</sup>、鈴木克典<sup>3)</sup>、田中美佐子<sup>4)</sup>、福與俊介<sup>2)</sup>、田中良哉<sup>2)</sup>  
1) 戸畑総合病院  
2) 産業医科大学第 1 内科  
3) 産業医科大学病院 感染制御部  
4) 産業医科大学病院 看護部
- P-008 気管支肺胞洗浄液中のサイトメガロウイルス (CMV) の real-time PCR 測定が診断に有用であった CMV 肺炎の 1 例  
小西啓司、笠松 悠、森村 歩、白野倫徳、後藤哲志  
大阪市立総合医療センター感染症内科
- P-009 PML で発症し、種々の感染症の既往がある HIV 感染症の一例  
彼谷裕康  
富山県立中央病院
- P-010 抗レトロウイルス療法の時代における呼吸器疾患の合併に関するシステムティックレビュー  
茂呂 寛<sup>1)</sup>、坂上亜希子<sup>1)</sup>、佐藤瑞穂<sup>1)</sup>、川口 怜<sup>1)</sup>、成田綾香<sup>1)</sup>、蔵田 裕<sup>1)</sup>、中川雄真<sup>1)</sup>、古谷野淳子<sup>1)</sup>、田邊嘉也<sup>2)</sup>、菊地利明<sup>1)</sup>  
1) 新潟大学医学総合病院感染管理部  
2) 新潟県立新発田病院

- P-011 HIV 患者におけるニューモシスチス肺炎の一次予防および二次予防はいつまでするべきか。  
山崎尚也<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>1)</sup>、高田 昇<sup>3)</sup>  
1) 広島大学病院輸血部  
2) 福山医療センター / 広島県東部地区エイズ治療センター  
3) 中電病院臨床検査科
- P-012 頭蓋骨浸潤が疑われ、他悪性腫瘍との鑑別を要したカポジ肉腫の1例  
鄭 瑞雄<sup>1)</sup>、池内和彦<sup>1)</sup>、田中 勝<sup>1)</sup>、福島一彰<sup>1)</sup>、矢嶋敬史郎<sup>1)</sup>、関谷紀貴<sup>2)</sup>、関谷綾子<sup>1,3)</sup>、味澤 篤<sup>1,4)</sup>、今村顕史<sup>1)</sup>  
1) がん・感染症センター都立駒込病院感染症科  
2) がん・感染症センター都立駒込病院臨床検査科  
3) 東京医科大学病院臨床検査医学科  
4) 東京都保健医療公社豊島病院
- P-013 ベトナム人 HIV 感染者における慢性 B 型肝炎とヒト白血球抗原との遺伝的関連に関する研究  
水島大輔<sup>1)</sup>、松本祥子<sup>1)</sup>、Ngueyn Dung<sup>2)</sup>、田沼順子<sup>1)</sup>、Nguen Kinh<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>1)</sup>  
1) 国立国際医療研究センター  
2) National Hospital for Tropical Disease
- P-014 外来における継続的な栄養指導の取り組みについて  
淵邊まりな<sup>1)</sup>、辻 麻理子<sup>1)</sup>、長與由紀子<sup>2)</sup>、城崎真弓<sup>2)</sup>、犬丸真司<sup>2)</sup>、高濱宗一郎<sup>3)</sup>、南 留美<sup>3)</sup>、山本政弘<sup>3)</sup>  
1) 独立行政法人国立病院機構九州医療センター  
2) 九州医療センター心理療法室  
3) 九州医療センター看護部  
4) 九州医療センター免疫感染症科
- P-015 HIV 感染症患者における尿蛋白測定 - 定性法と定量法の比較 -  
島袋翔多<sup>1)</sup>、日笠真一<sup>1)</sup>、秀田恭子<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、徳川多津子<sup>2)</sup>、木村 健<sup>1)</sup>  
1) 兵庫医科大学病院 薬剤部  
2) 兵庫医科大学 血液内科
- P-016 長期間未治療の HIV 感染者にみられた二次性膜性増殖性糸球体腎炎の1例  
安井晴之進<sup>1)</sup>、徳永博俊<sup>1)</sup>、竹内麻子<sup>1)</sup>、廣瀬 匡<sup>1)</sup>、山内 佑<sup>2)</sup>、西村広健<sup>3)</sup>、杉原 尚<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>1)</sup>  
1) 川崎医科大学血液内科学  
2) 川崎医科大学腎臓・高血圧内科学  
3) 川崎医科大学病理学 1
- P-017 HIV 感染症患者の認知機能に関する報告  
緒方 積<sup>1)</sup>、宮川寿一<sup>1)</sup>、高木雅敏<sup>2)</sup>、松下修三<sup>3)</sup>、松岡雅雄<sup>1)</sup>  
1) 熊本大学医学部附属病院 血液内科・感染免疫診療部  
2) 熊本大学医学部附属病院 看護部  
3) 熊本大学エイズ学研究センター
- P-018 リトナビル併用ダルナビルからダルナビル・コビスタット配合剤へ変更した症例の臨床検査値および自覚症状の変化  
富島公介<sup>1)</sup>、中内崇夫<sup>1)</sup>、矢倉裕輝<sup>1)</sup>、山本雄大<sup>2)</sup>、湯川理己<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、伊熊素子<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>  
1) 国立病院機構大阪医療センター薬剤部  
2) 国立病院機構大阪医療センター感染症内科
- P-019 抗 HIV 療法の違いが健康関連 QOL へ及ぼす影響  
日笠真一<sup>1)</sup>、島袋翔多<sup>1)</sup>、秀田恭子<sup>1)</sup>、日笠 聡<sup>2)</sup>、澤田暁宏<sup>2)</sup>、徳川多津子<sup>2)</sup>、木村 健<sup>1)</sup>  
1) 兵庫医科大学病院薬剤部  
2) 兵庫医科大学血液内科
- P-020 Dolutegravir, lamivudine の2剤による維持療法に至った症例における有効性および安全性の検討  
川口しおり<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>1)</sup>、加藤万理<sup>1)</sup>、戸上博昭<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、中畑征史<sup>2)</sup>、小暮あゆみ<sup>3)</sup>、今村淳治<sup>4)</sup>、蜂谷敦子<sup>5)</sup>、岩谷靖雅<sup>5)</sup>、松本修一<sup>1)</sup>、横幕能行<sup>4)</sup>  
1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部  
2) 国立病院機構名古屋医療センター 呼吸器科  
3) 国立病院機構名古屋医療センター 感染症科  
4) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター  
5) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター感染・免疫研究部

P-021 アドヒアランス良好かつ耐性変異が無いウイルスへの抗 HIV 療法でも、長期間血中 HIV-1-RNA 量低下を認めなかった 2 例

新井 剛<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、上地隆史<sup>1)</sup>、山本雄大<sup>1)</sup>、湯川理己<sup>1)</sup>、廣田和之<sup>1)</sup>、伊熊素子<sup>1)</sup>、笠井大介<sup>1)</sup>、西田恭治<sup>1)</sup>、永井崇之<sup>2)</sup>、宮田順之<sup>3)</sup>、吉村幸浩<sup>3)</sup>、立川夏夫<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>、白阪琢磨<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科  
2) 大阪府立病院機構 大阪はびきの医療センター 感染症内科  
3) 横浜市立市民病院 感染症内科

P-022 ART 導入患者における年代別の常用薬に関する調査研究

那波みゆき<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>1)</sup>、宇高 歩<sup>1)</sup>、石坂敏彦<sup>2)</sup>、松浦基夫<sup>3)</sup>、大成功一<sup>4)</sup>

1) 地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター 薬剤科  
2) 同 薬剤・技術局  
3) 同 腎代謝免疫内科  
4) 同 診療局

P-023 HIV 感染早期患者に対する MVC を加えた強化療法の効果と安全性に関する研究

白阪琢磨<sup>1)</sup>、渡邊 大<sup>1)</sup>、山本政弘<sup>2)</sup>、南 留美<sup>2)</sup>、金井 修<sup>3)</sup>、上平朝子<sup>1)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター  
2) 国立病院機構九州医療センター  
3) 国立病院機構京都医療センター

P-024 [アンコール] Duration of initial anti-retrovirus regimen in Japanese HIV infected adults between 2011 and 2016: a retrospective database analysis

Ruzicka Daniel<sup>1)</sup>、Ohshima Nobuyuki<sup>1)</sup>、Naito Toshio<sup>2)</sup>

1) MSD K.K.  
2) Department of General Medicine, Juntendo University

P-025 [アンコール] Switching from an Abacavir/Lamivudine-based Regimen to Elvitegravir/Cobicistat/Emtricitabine/Tenofovir Alafenamide is Efficacious and Safe: Week 24 Primary Analysis

M.S. Rhee<sup>1)</sup>、A. Gori<sup>2)</sup>、G. Rizzardini<sup>3)</sup>、C. Miralles<sup>4)</sup>、J. Olalla<sup>5)</sup>、JM Molina<sup>6)</sup>、F. Raffi<sup>7)</sup>、P. Kumar<sup>8)</sup>、A. Antinori<sup>9)</sup>、M. Ramgopal<sup>10)</sup>、HJ Stellbrink<sup>11)</sup>、M. Das<sup>1)</sup>、H. Chu<sup>1)</sup>、R. Ram<sup>1)</sup>、W. Garner<sup>1)</sup>、SK Chuck<sup>1)</sup>、D. Piontkowsky<sup>1)</sup>、R. Haubrich<sup>1)</sup>

1) Gilead Sciences  
2) ASST di Monza - Azienda Ospedaliera San Gerardo  
3) ASST Fatebenefratelli Sacco - Ospedale Luigi Sacco  
4) CHU de Vigo - Hospital Alvaro Cunqueiro  
5) Hospital Costa del Sol  
6) Hôpital Saint Louis  
7) CHU de Nantes  
8) Georgetown University Medical Center  
9) Istituto Nazionale Malattie Infettive Lazzaro Spallanzani IRCCS  
10) Midway Immunology and Research Center  
11) ICH Study Center

P-026 保険薬局における病院内カンファレンス参加への取り組み

小川和彦<sup>1)</sup>、春日真由<sup>1)</sup>、彌重典子<sup>1)</sup>、石井聡一郎<sup>2)</sup>、藤井健司<sup>2)</sup>、藤田啓子<sup>2)</sup>、畝井浩子<sup>2)</sup>、藤井輝久<sup>3)</sup>、若生あき<sup>1)</sup>

1) 一般財団法人緑風会 緑風会薬局  
2) 広島大学病院 薬剤部  
3) 広島大学病院 輸血部

P-027 血液製剤による HIV 感染者の調査成績 第 1 報 CD4 値、HIV-RNA 量と治療の現状と推移

白阪琢磨<sup>1)</sup>、大金美和<sup>2)</sup>、岡 慎一<sup>2)</sup>、岡本 学<sup>1)</sup>、川戸美由紀<sup>3)</sup>、橋本修二<sup>3)</sup>、日笠 聡<sup>4)</sup>、福武勝幸<sup>5)</sup>、八橋 弘<sup>6)</sup>

1) 国立病院機構大阪医療センター  
2) 国立国際医療研究センター  
3) 藤田保健衛生大学  
4) 兵庫医科大学  
5) 東京医科大学  
6) 国立病院機構長崎医療センター

P-028 PCP 治療薬により重篤な低血糖となった一例

岡崎雅史<sup>1,2)</sup>、今井顕子<sup>1,2)</sup>、中村美保<sup>1)</sup>、細木加寿子<sup>2)</sup>、武内世生<sup>1,3)</sup>

1) 高知大学医学部附属病院エイズ治療対策チーム  
2) 高知大学医学部附属病院薬剤部  
3) 高知大学医学部附属病院総合診療部

**P-029 当院におけるドルテグラビル使用状況について 第3報**

安田明子<sup>1)</sup>、南川知央<sup>1)</sup>、下川千賀子<sup>1)</sup>、  
高山次代<sup>2)</sup>、辻 典子<sup>3)</sup>、齋藤千鶴<sup>4)</sup>、  
小谷岳春<sup>4)</sup>、渡邊珠代<sup>4)</sup>

- 1) 石川県立中央病院 薬剤部
- 2) 石川県立中央病院 看護部
- 3) エイズ予防財団
- 4) 石川県立中央病院 診療部

**P-030 抗 HIV 薬服用による中枢神経障害の発現についての 1 症例**

近江谷英理、片井麻美、堤 豊  
市立函館病院

**P-031 当院での TDF から TAF 変更患者における腎機能、脂質代謝への影響**

柏原陽平<sup>1)</sup>、野口浩寿<sup>1)</sup>、弓場達也<sup>2)</sup>、  
津田正博<sup>1)</sup>、大野聖子<sup>3)</sup>

- 1) 京都第一赤十字病院 薬剤部
- 2) 京都第一赤十字病院 呼吸器内科
- 3) 京都第一赤十字病院 感染制御部

**P-032 Dolutegravir による非典型的な副作用を呈した 5 例**

齋藤千鶴<sup>1)</sup>、小谷岳春<sup>1)</sup>、渡邊珠代<sup>2)</sup>

- 1) 石川県立中央病院血液内科
- 2) 石川県立中央病院免疫感染症科

**P-033 ABC+3TC から TAF/FTC へ ART を変更した患者における腎機能検査値の経時的変化について**

加藤万理<sup>1)</sup>、平野 淳<sup>1)</sup>、川口しおり<sup>1)</sup>、  
稲垣雄一<sup>1)</sup>、戸上博昭<sup>1)</sup>、福島直子<sup>1)</sup>、  
小暮あゆみ<sup>4)</sup>、中畑征史<sup>4)</sup>、今村淳治<sup>3)</sup>、  
蜂谷敦子<sup>2)</sup>、岩谷靖雅<sup>2)</sup>、松本修一<sup>1)</sup>、  
横幕能行<sup>3)</sup>

- 1) 国立病院機構名古屋医療センター 薬剤部
- 2) 国立病院機構名古屋医療センター 臨床研究センター 感染・免疫研究部
- 3) 国立病院機構名古屋医療センター エイズ治療開発センター
- 4) 国立病院機構名古屋医療センター 感染症内科

**P-034 うつ病増悪の要因が抗うつ剤と抗 HIV 薬との相互作用によるものと推定された 1 例**

藤田麻緒<sup>1)</sup>、市田裕之<sup>1)</sup>、白野倫徳<sup>2)</sup>、  
小西啓司<sup>2)</sup>、森村 歩<sup>2)</sup>、笠松 悠<sup>2)</sup>、  
後藤哲志<sup>2)</sup>

- 1) 大阪市立総合医療センター薬剤部
- 2) 大阪市立総合医療センター感染症内科

**P-035 ラルテグラビル投与時の錠剤粉碎等による血中濃度への影響の検討**

永野大輔<sup>1,2)</sup>、柳澤邦雄<sup>3)</sup>、小川孔幸<sup>3)</sup>、  
真下貴子<sup>2)</sup>、合田 史<sup>4)</sup>、内海英貴<sup>5)</sup>、  
荒木拓也<sup>1,2)</sup>、半田 寛<sup>3)</sup>、山本康次郎<sup>1,2)</sup>

- 1) 群馬大学大学院医学系研究科 臨床薬理学
- 2) 群馬大学医学部附属病院 薬剤部
- 3) 群馬大学医学部附属病院 血液内科
- 4) 国立病院機構高崎医療センター 総合診療科
- 5) 医療法人社団日高会 白根クリニック

**P-036 日本人 HIV-1 感染症症例におけるテノホビルアラフェナミドを含む 1 日 1 回 1 錠製剤投与時のテノホビル血漿トラフ濃度に関する検討**

矢倉裕輝<sup>1)</sup>、中内崇夫<sup>1)</sup>、富島公介<sup>1)</sup>、  
山本雄大<sup>2)</sup>、湯川理己<sup>2)</sup>、廣田和之<sup>2)</sup>、  
伊熊素子<sup>2)</sup>、上地隆史<sup>2)</sup>、渡邊 大<sup>2)</sup>、  
西田恭治<sup>2)</sup>、上平朝子<sup>2)</sup>、白阪琢磨<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構 大阪医療センター 薬剤部
- 2) 国立病院機構 大阪医療センター 感染症内科

**P-037 HIV 感染症患者の周術期薬剤管理について**

宇高 歩<sup>1)</sup>、那波みゆき<sup>1)</sup>、宮本愛梨沙<sup>1)</sup>、  
石坂敏彦<sup>1)</sup>、大成功一<sup>2)</sup>、松浦基夫<sup>3)</sup>

- 1) 堺市立総合医療センター 薬剤科
- 2) 堺市立総合医療センター 予防検診科
- 3) 堺市立総合医療センター 腎代謝免疫内科

**P-038 HIV/AIDS 患者における残薬調整**

Uchiyama Mariko<sup>1)</sup>、坂井孝行<sup>1)</sup>、  
新木貴大<sup>2)</sup>、田中克幸<sup>3)</sup>

- 1) 新潟市民病院薬剤部
- 2) 新潟大学医歯学総合病院 薬剤部
- 3) 新潟県立新発田病院 薬剤部

**P-039 外来における ART 服薬支援と医療連携 第 3 報～保険薬局の医療連携とプライバシー保護～**

角南直美<sup>1)</sup>、松本葉子<sup>1)</sup>、小林瑞穂<sup>1)</sup>、  
齋藤富美子<sup>1)</sup>、安藤夕香<sup>1)</sup>、廣瀬祥子<sup>1)</sup>、  
河本佳子<sup>2)</sup>、本間元子<sup>3)</sup>、堀岡道代<sup>3)</sup>、  
黄倉京子<sup>3)</sup>、高橋奈津子<sup>3)</sup>、竹上理奈子<sup>3)</sup>、  
松永由美子<sup>3)</sup>、妻野玲子<sup>4)</sup>、豊田恵太<sup>4)</sup>、  
柳田月美<sup>4)</sup>、松永伸一<sup>5)</sup>、土谷良樹<sup>5)</sup>、  
勇 美穂<sup>1)</sup>

- 1) 外苑企画商事 わかば薬局中央店
- 2) 東葛病院 薬局
- 3) 東葛病院 外来看護
- 4) 東葛病院 医療福祉相談課
- 5) 東葛病院 総合診療科

## P-040 「HIV 薬剤師外来」の有用性の検討

村田龍宣<sup>1)</sup>、大橋正和<sup>1)</sup>、本多あずさ<sup>1)</sup>、  
寺前晃介<sup>2)</sup>、中達 尚<sup>2)</sup>、清水恒広<sup>2)</sup>、  
村岡淳二<sup>1)</sup>

- 1) 地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 薬剤科
- 2) 地方独立行政法人 京都市立病院機構 京都市立病院 感染症科

## P-041 抗 HIV 薬を選択する際に患者が重視する項目～食事の影響について～

森下和美<sup>1)</sup>、野毛一郎<sup>1)</sup>、吉田康秀<sup>2)</sup>

- 1) 沼津市立病院薬剤部
- 2) 沼津市立病院呼吸器内科

## P-042 HIV 陽性者における HBV および梅毒トレポネーマの感染実態

小島洋子、川畑拓也、森 治代

大阪健康安全基盤研究所

## P-043 患者の心理的要望を受けてラッピングによるバリアーを解除した経緯

小林美生<sup>1,2)</sup>、加賀谷 昇<sup>1,2)</sup>、齊藤怜子<sup>2)</sup>、  
児玉あづさ<sup>2)</sup>、植田美知子<sup>2)</sup>、八木澤健二<sup>2)</sup>、  
澤 悦夫<sup>1,3)</sup>、小林成文<sup>1,4)</sup>、花岡新八<sup>1,5)</sup>、  
伊能智明<sup>1,6)</sup>、松本宏之<sup>1,7)</sup>、鈴木治仁<sup>1,8)</sup>

- 1) 東京 HIV デンタルネットワーク
- 2) 加賀谷歯科医院 (文京区)
- 3) 澤歯科医院 (調布市)
- 4) 小林歯科クリニック (千代田区)
- 5) 花岡歯科医院 (中野区)
- 6) あすなろデンタルクリニック (江戸川区)
- 7) 東京医科歯科大学歯学部附属病院総合診療科 (文京区)
- 8) 鈴木歯科クリニック (品川区)

## P-044 福山医療センターにおける HIV 感染者の歯科受診状況と歯科未受診患者への支援

村上由佳<sup>1)</sup>、藤原千尋<sup>1)</sup>、木梨貴博<sup>1)</sup>、  
飯塚暁子<sup>1)</sup>、野村直幸<sup>1)</sup>、松井綾香<sup>1)</sup>、  
齊藤誠司<sup>1)</sup>、坂田達朗<sup>1)</sup>、和田秀穂<sup>2)</sup>

- 1) 国立病院機構福山医療センター
- 2) 川崎医科大学附属病院

## P-045 CMV 脳炎との鑑別が困難な脳原発悪性リンパ腫を発症した AIDS の一例

伊藤公人<sup>1)</sup>、安藤友恵<sup>2)</sup>、竹中香奈枝<sup>3)</sup>、  
岩田 聡<sup>3)</sup>、竹本俊也<sup>4)</sup>、松原 誠<sup>5)</sup>、  
片浦貴俊<sup>5)</sup>、桐山佳奈<sup>6,7)</sup>、沓名健雄<sup>8)</sup>

- 1) 社会医療法人宏潤会大同病院 血液・化学療法内科
- 2) 社会医療法人宏潤会大同病院 看護部
- 3) 社会医療法人宏潤会大同病院 薬剤部
- 4) 社会医療法人宏潤会大同病院 膠原病・リウマチ内科
- 5) 社会医療法人宏潤会大同病院 口腔外科
- 6) 名古屋医療センターエイズ治療開発センター
- 7) エイズ予防財団
- 8) 社会医療法人宏潤会大同病院 呼吸器内科

## P-046 ART 療法中に多発血栓症を併発した悪性リンパ腫患者の一例

池田 博<sup>1)</sup>、吉田正宏<sup>1,2)</sup>、舘越鮎美<sup>1,2)</sup>、  
菊地尚平<sup>1,2)</sup>、村瀬和幸<sup>1,2)</sup>、高田弘一<sup>1,2)</sup>、  
井山 諭<sup>1)</sup>、小船雅義<sup>1)</sup>、村上則子<sup>3)</sup>、  
宮越郁子<sup>3)</sup>、又村了輔<sup>4)</sup>、國本雄介<sup>4)</sup>、  
加藤淳二<sup>1,2)</sup>

- 1) 札幌医科大学医学部血液内科
- 2) 札幌医科大学医学部腫瘍内科
- 3) 札幌医科大学附属病院看護部
- 4) 札幌医科大学附属病院薬剤部

## P-047 ART 変更により血圧コントロールに難渋した一例

内坪敬太、有山真由美、赤沢 翼、押賀充則、  
早川史織、増田純一、赤木祐一朗、照屋勝治、  
桑原 健、菊池 嘉、岡 慎一

国立国際医療研究センター病院

## P-048 CMV 感染の合併により一時的な薬剤抵抗性を認めた HIV 感染症の一例

宮崎 悠<sup>1,2)</sup>、坂部茂俊<sup>1)</sup>、豊嶋弘一<sup>1)</sup>

- 1) 伊勢赤十字病院感染症内科
- 2) 初期研修医

## P-049 ドルテグラビル内服中の HIV 患者で乳酸アシドーシスを発症した症例

城川泰司郎、福武勝幸、山元泰之、天野景裕、  
萩原 剛、四本美保子、村松 崇、備後真登、  
近澤悠志、一木昭人、上久保淑子、宮下竜伊

東京医科大学病院

**P-050 同一施設内で生体腎移植を行った HIV 患者の一例**

和田達彦<sup>1)</sup>、高山陽子<sup>2,3)</sup>、加藤 笑<sup>4)</sup>、石井大輔<sup>5)</sup>、吉田一成<sup>3,5)</sup>

- 1) 北里大学医学部 膠原病・感染内科
- 2) 北里大学病院 危機管理部 感染管理室
- 3) 北里大学医学部附属新世紀医療開発センター
- 4) 北里大学病院 看護部
- 5) 北里大学医学部 泌尿器科学

**P-051 HIV 感染者に腎生検を施行し IgA 腎症と診断した一例**

下村浩祐<sup>1)</sup>、秋山美奈子<sup>1)</sup>、吉本 宏<sup>1)</sup>、柳 富子<sup>2)</sup>

- 1) 東京山手メディカルセンター 腎臓内科
- 2) 東京山手メディカルセンター 血液内科

**P-052 化膿性脊椎炎を発症した HIV 感染症の 1 例**

澤田暁宏、日笠 聡、徳川多津子、小川啓恭  
兵庫医科大学 血液内科

**P-053 HIV による食道潰瘍の一例**

吉田 敦<sup>1)</sup>、久礼里江<sup>2)</sup>、水島 遼<sup>1)</sup>、井口成一<sup>1)</sup>、山本智子<sup>3)</sup>、鎌田啓佑<sup>1)</sup>、古賀一郎<sup>1)</sup>、平井由児<sup>1)</sup>、平山江美<sup>1)</sup>、中村真一<sup>4)</sup>、長嶋洋治<sup>3)</sup>、徳重克年<sup>2)</sup>、菊池 賢<sup>1)</sup>

- 1) 東京女子医科大学感染症科
- 2) 東京女子医科大学消化器内科
- 3) 東京女子医科大学病理診断科
- 4) 東京女子医科大学消化器内視鏡科

**P-056 男性 HIV 陽性者におけるアルコール依存症の実態と関連要因**

戸ヶ里泰典<sup>1)</sup>、井上洋士<sup>1,2)</sup>、高久陽介<sup>3)</sup>、矢島 嵩<sup>2)</sup>、阿部桜子<sup>4)</sup>、板垣貴志<sup>2)</sup>、細川陸也<sup>5)</sup>、若林チヒロ<sup>6)</sup>、大木幸子<sup>7)</sup>

- 1) 放送大学
- 2) (株) アクセライト
- 3) 日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス
- 4) TIS (株)
- 5) 名古屋市立大学
- 6) 埼玉県立大学
- 7) 杏林大学

**P-057 高校生を対象とした HIV に関する知識・意識調査**

根岸由美子<sup>1)</sup>、鈴木有佳<sup>1,2)</sup>、今井優佳<sup>1)</sup>、濱中祥子<sup>1)</sup>、中島巴歌<sup>1)</sup>、枝木美香<sup>3)</sup>、西山美希<sup>4)</sup>、貴志 泉<sup>5)</sup>

- 1) HIV/AIDS Action Team At Share (HAATAS)
- 2) 順天堂大学大学院医学研究科公衆衛生学講座
- 3) 特定非営利活動法人アユース仏教国際協力ネットワーク
- 4) 特定非営利活動法人 シェア=国際保健協力市民の会
- 5) 筑波大学附属高等学校

**P-058 大阪市A地区における介護職の HIV 研修の検討**

佐保美奈子<sup>1)</sup>、安井典子<sup>2)</sup>、三澤朋洋<sup>3)</sup>、泉 抽岐<sup>4)</sup>、西口初江<sup>5)</sup>、堀 有優美<sup>6)</sup>、田中彩水<sup>7)</sup>、岸本晶愛<sup>8)</sup>、白阪琢磨<sup>9)</sup>、古山美穂<sup>1)</sup>、山田加奈子<sup>1)</sup>、高 知恵<sup>1)</sup>

- 1) 大阪府立大学大学院看護学研究科
- 2) 大阪市北区保健福祉センター
- 3) 社会福祉法人武蔵野会第 2 大島恵の園
- 4) 大阪信愛女学院短期大学
- 5) 羽衣国際大学人間生活学部
- 6) 大阪母子医療センター
- 7) 和歌山労災病院
- 8) ペルランド看護助産専門学校助産学科在学
- 9) 国立大阪医療センター

**P-059 若年層向けの行政と連携した予防啓発方法の試み**

後藤大輔<sup>1,2)</sup>、中村理恵<sup>1)</sup>、宮田りりい<sup>2)</sup>、塩野徳史<sup>2,3)</sup>

- 1) 特定非営利活動法人 関西エイズ対策協議会
- 2) MASH 大阪
- 3) 大阪青山大学健康科学部看護学科

## 社会

**P-054 Community-Based Organization によるアウトリーチ活動のプログラム評価 — ロジックモデルを用いたプロセス評価 —**

本間隆之<sup>1)</sup>、木南拓也<sup>2)</sup>、岩橋恒太<sup>2)</sup>、柴田 恵<sup>2)</sup>、荒木順子<sup>2)</sup>、佐久間久弘<sup>2)</sup>、阿部甚兵<sup>2)</sup>、大島 岳<sup>2)</sup>、市川誠一<sup>3)</sup>

- 1) 山梨県立大学看護学部
- 2) 特定非営利活動法人 akta
- 3) 人間環境大学

**P-055 北関東甲信越地域在住の一般住民におけるエイズ/HIV に対する意識調査結果**

山田瑛子、高木律男

新潟大学大学院医歯学総合研究科顎顔面口腔外科学分野

- P-060 **Studies on NGOs' HIV prevention interventions targeting MSM community in Mongolia**  
Takaku Michiko<sup>1)</sup>、  
Dorjgotov Myagmardorj<sup>2)</sup>、  
Gombo Erdenetuya<sup>3)</sup>、  
Galsanjamts Nyampurev<sup>4)</sup>、  
Jagdagsuren Davaalkham<sup>5)</sup>、  
Ichikawa Seiichi<sup>1)</sup>、Shiono Satoshi<sup>6)</sup>、  
Kaneko Noriyo<sup>7)</sup>、Oka Shinichi<sup>8)</sup>  
1) University of Human Environments  
2) Youth for Health Center  
3) Together Center  
4) Human Rights Youth Health Support Center  
5) NCCD, Mongolia  
6) Osaka Aoyama University  
7) Nagoya City University  
8) ACC, NCGM, Japan
- P-061 **外国人 HIV の動向予測を踏まえた多言語受検・診療支援体制構築の取組み**  
沢田貴志<sup>1,2)</sup>、宮首弘子<sup>3)</sup>、北島 勉<sup>4)</sup>  
1) 港町診療所  
2) シェア=国際保健協力市民の会  
3) 杏林大学外国語学部  
4) 杏林大学総合政策学部
- P-062 **マレーシアにおける HIV 感染症と薬物使用の現状 - 平成 27 年度国際協力計画推進検討事業より -**  
阿部憲介<sup>1)</sup>、嶋根卓也<sup>2)</sup>、柏崎正雄<sup>3)</sup>  
1) 国立病院機構仙台医療センター  
2) 国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所  
3) 公益財団法人エイズ予防財団
- P-063 **日本でのハーム・リダクション概念の導入小史**  
徐 淑子<sup>1)</sup>、池田光穂<sup>2)</sup>  
1) 新潟県立看護大学  
2) 大阪大学 CO デザイン・センター
- P-064 **地域の相談支援機関利用による薬物使用 HIV 陽性者の回復事例の調査**  
大木幸子<sup>1)</sup>、生島 嗣<sup>2)</sup>、樽井正義<sup>2)</sup>  
1) 杏林大学保健学部看護学科  
2) 特定非営利活動法人ふれいす東京
- P-065 **函館市における HIV 抗体検査普及活動の試み～看護学生とのディスカッションから～**  
片井麻美、堤 豊  
市立函館病院
- P-066 **大阪府における MSM 向け HIV/STI 検査相談事業・平成 28 年度実績報告**  
川畑拓也<sup>1)</sup>、小島洋子<sup>1)</sup>、森 治代<sup>1)</sup>、  
駒野 淳<sup>2)</sup>、岩佐 厚<sup>3)</sup>、亀岡 博<sup>4)</sup>、  
菅野展史<sup>5)</sup>、近藤雅彦<sup>6)</sup>、杉本賢治<sup>7)</sup>、  
高田昌彦<sup>8)</sup>、田端運久<sup>9)</sup>、中村幸生<sup>10)</sup>、  
古林敬一<sup>11)</sup>、清田敦彦<sup>12)</sup>、伏谷加奈子<sup>13)</sup>、  
塩野徳史<sup>14)</sup>、後藤大輔<sup>14)</sup>、町 登志雄<sup>14)</sup>、  
柴田敏之<sup>15)</sup>、木下 優<sup>15)</sup>  
1) 大阪健康安全基盤研究所 微生物部ウイルス課  
2) 国立病院機構名古屋医療センター  
3) 岩佐クリニック  
4) 亀岡クリニック  
5) 菅野クリニック  
6) 近藤クリニック  
7) 京橋杉本クリニック  
8) 高田泌尿器科  
9) 田端医院  
10) 中村クリニック  
11) そねざき古林診療所  
12) 清田クリニック  
13) ふしたにクリニック  
14) MASH 大阪  
15) 大阪府健康医療部医療対策課
- P-067 **保健所等公的検査機関を対象とした HIV 検査相談体制に関するアンケート調査**  
佐野貴子<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>1)</sup>、須藤弘二<sup>2)</sup>、  
加藤真吾<sup>2)</sup>、市川誠一<sup>3)</sup>、今井光信<sup>4)</sup>  
1) 神奈川県衛生研究所  
2) 慶応義塾大学医学部  
3) 人間環境大学  
4) 田園調布学園大学
- P-068 **常設夜間休日 HIV 検査場における 9 年間の検査結果の動向**  
毛受矩子<sup>1,2)</sup>  
1) 四天王寺大学 教育学部 教育学科 保健教育コース  
2) NPO 法人スマートらいふネット
- P-069 **全国の地方衛生研究所を対象とした HIV 検査に係るアンケート調査と精度管理**  
長島真美<sup>1)</sup>、近藤真規子<sup>2)</sup>、北村有里恵<sup>1)</sup>、  
川畑拓也<sup>3)</sup>、松岡佐織<sup>4)</sup>、新開敬行<sup>1)</sup>、  
貞升健志<sup>1)</sup>  
1) 東京都健康安全研究センター 微生物部  
2) 神奈川県衛生研究所 微生物部  
3) 大阪健康安全基盤研究所 微生物部  
4) 国立感染症研究所 エイズ研究センター

P-070 取り下げ

P-071 エイズ中核拠点病院相談事業の地域性に  
応じた活用についてー長崎県の HIV 考  
ウンセリング活動を通してー

長浦由紀<sup>1)</sup>、中澤紀子<sup>2)</sup>、諸石真澄<sup>3)</sup>、  
中村かおる<sup>1)</sup>、高田知恵子<sup>4)</sup>、泉川公一<sup>5)</sup>

- 1) 長崎大学病院
- 2) 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター
- 3) 地方独立行政法人佐世保市総合医療センター
- 4) 大妻女子大学
- 5) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科臨床感染症学分野

P-072 HIV 感染症患者の療養支援に求められる  
ものー長野県エイズ治療拠点病院等連絡  
会によるアンケートから

小林和代<sup>1)</sup>、平林幸生<sup>1)</sup>、植竹日奈<sup>1)</sup>、  
長谷川直子<sup>1)</sup>、柘植洋子<sup>1)</sup>、宮澤淑子<sup>1)</sup>、  
金井信一郎<sup>2)</sup>、牛木淳人<sup>2)</sup>、小堀福子<sup>2)</sup>、  
小林裕子<sup>2)</sup>、土屋広行<sup>2)</sup>、山崎善隆<sup>3)</sup>、  
中島恵利子<sup>3)</sup>、遠山千絵美<sup>4)</sup>、三辻賢<sup>5)</sup>、  
菅沼喜左<sup>6)</sup>、河村雅宏<sup>7)</sup>、蜂谷勤<sup>8)</sup>、  
上條奈奈<sup>8)</sup>、西垣明子<sup>9)</sup>、北野喜良<sup>1)</sup>

- 1) まつもと医療センター松本病院
- 2) 信州大学医学部附属病院
- 3) 長野県立信州医療センター
- 4) 信州上田医療センター
- 5) 佐久総合病院
- 6) 飯田市立病院
- 7) 長野赤十字病院
- 8) 諏訪赤十字病院
- 9) 長野県健康福祉部

P-073 南大阪における HIV 陽性者の療養支援体  
制充実をめざす当院の取り組みー肺炎の  
経過中に人工呼吸器管理が必要となった  
症例の転院を経験してー

樫木和美<sup>1)</sup>、松浦基夫<sup>1)</sup>、草間加与<sup>1)</sup>、  
大成功一<sup>1)</sup>、岡崎浩<sup>2)</sup>

- 1) 地方独立行政法人堺市立病院機構 堺市立総合医療センター
- 2) 医療法人方佑会 植木病院

P-074 地域へ出よう、そして広げようー HIV/  
AIDS 啓発の取り組みー

木梨貴博、村上由佳、松井綾香、野村直幸、  
飯塚暁子、門田悦子、齊藤誠司、坂田達朗

独立行政法人国立病院機構福山医療センター HIV/  
AIDS 医療チーム

P-075 受診・服薬継続管理アプリの自己管理機  
能活用が HIV 陽性者の管理能力に与える  
影響について検討

村上英子<sup>1,2)</sup>、山崎尚也<sup>1,3)</sup>、藤井輝久<sup>1,3)</sup>、  
宮原明美<sup>4)</sup>、池田有里<sup>4)</sup>、木下一枝<sup>4)</sup>、  
石井聡一郎<sup>5)</sup>、藤井健司<sup>5)</sup>、藤田啓子<sup>5)</sup>、  
畝井浩子<sup>5)</sup>、杉本悠貴恵<sup>1,2)</sup>、丸山栄子<sup>1,2)</sup>、  
喜花伸子<sup>1)</sup>、齊藤誠司<sup>6)</sup>、高田昇<sup>7)</sup>

- 1) 広島大学病院エイズ医療対策室
- 2) (公財) エイズ予防財団リサーチレジデント
- 3) 広島大学病院輸血部
- 4) 広島大学病院看護部
- 5) 広島大学病院薬剤部
- 6) 国立病院機構福山医療センター
- 7) 中国電力株式会社中電病院臨床検査科

P-076 HIV 陽性者の対面ライフプラン相談の実  
施報告

永易至文

特定非営利活動法人パープル・ハンズ

## 基礎

P-077 HIV 潜伏感染プロウイルスの再活性化を  
誘導する低分子化合物の探索

合田仁<sup>1)</sup>、鈴木一雄<sup>2)</sup>、井上純一郎<sup>1,3)</sup>、  
川口寧<sup>1,4)</sup>、石田尚臣<sup>1)</sup>

- 1) 東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点
- 2) シドニーセントビンセント応用医科学研究センター、  
ニューサウスウェールズ州立 HIV リファレンス研究  
室
- 3) 東京大学医科学研究所癌細胞増殖部門分子発癌分野
- 4) 東京大学医科学研究所感染免疫部門ウイルス病態分  
野

P-079 Single-Virion Visualization for  
distinguishing infectious HIV-1  
core morphology

Anamaria Sarca<sup>1)</sup>、泉泰輔<sup>1)</sup>、  
福田寛文<sup>1)</sup>、Sardo Luca<sup>2)</sup>、  
Smith Jessica<sup>3)</sup>、白川康太郎<sup>1)</sup>、  
堀川一樹<sup>4)</sup>、高折晃史<sup>1)</sup>

- 1) Department of Hematology and Oncology,  
Graduate School of Medicine, Kyoto  
University, Kyoto, Japan
- 2) Department of Biological Sciences, McNeil  
Science and Technology Center, University  
of the Sciences, Philadelphia, PA, 19104, USA
- 3) Molecular and Translational Sciences,  
United States Army Medical Research  
Institute of Infectious Diseases, Frederick,  
MD, 21702, USA
- 4) Division of Bioimaging, Institute of Health  
Biosciences, The University of Tokushima  
Graduate School

**P-081 Single cell sorting による抗 V3 中和  
単クローン抗体に対する抗イデオタイプ  
抗体の作製**

郭 悠、桑田岳夫、田中和樹、  
AlamMohammad Mamun、高濱正吉、  
Hassan MDZahid、松下修三

熊本大学エイズ学研究センター 松下プロジェクト研究  
室

**P-083 Evaluation of Binding affinity and  
Neutralization Potency and  
Coverage of anti-V3 scFv's  
against HIV-1 Subtype-B viruses**

Alam Mohammad、田中和樹、  
Muntasir Alam、Win Thida、桑田岳夫、  
松下修三

Center for AIDS Research, School of Medical  
Science, Kumamoto University

**P-085 コンゴ共和国西部の街ポアント・ノアー  
ル市で流行している HIV 遺伝子型の変遷**

井戸栄治<sup>1,2)</sup>、Taty-Taty Raphael<sup>3)</sup>、  
Ahuka-Mundeke Steve<sup>4)</sup>、  
伊吹謙太郎<sup>5)</sup>、  
Muyembe Jean-Jacques<sup>4)</sup>

1) 東京医科歯科大学大学院医歯学総合研究科

2) 同志社大学生命医科学部

3) ポアント・ノアール感染症診療所

4) コンゴ民主共和国国立生物医学研究所

5) 京都大学大学院医学研究科